

対象校No. 817

注4

学校コード F128310108749

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

神戸女子大学 心理学部 心理学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人学校法人行吉学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教務事務部
職名・氏名	フチョウ カワイ ヒデユキ 部長・河合 英行
電話番号	078-303-4700 (内線: 2127)
(夜間)	078-303-4717 (内線: 2148)
e-mail	p-kyomu@yg.kobe-wu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

心理学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教育研究実施組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人行吉学園

(2) 大 学 名

神戸女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒650-0046

兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号

(〒654-8585 兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ユキヨシ ヨシタカ) 行吉 宜孝 (平成31年4月)	(タバタ トシキ) 多畑 寿城 (令和5年7月) (オカダ マコト) 岡田 誠 (令和7年4月)	変更理由：前理事長の退任に伴う変更 変更年月日：令和5年7月1日 報告年度：(6) 変更理由：前理事長の退任に伴う変更 変更年月日：令和7年4月1日 報告年度：(7)
学 長	(クリハラ ノブタカ) 栗原 伸公 (平成31年4月)	(コウ アイコ) 洪 愛子 (令和7年4月)	変更理由：任期満了に伴う変更 変更年月日：令和7年4月1日 報告年度：(7)
学 部 長	(コハラ ヨリコ) 小原 依子 (令和4年4月)	(オザワ ヤスヒデ) 小沢 康英 (令和6年4月)	変更理由：任期満了に伴う変更 変更年月日：令和6年4月1日 報告年度：(6)
学科長等	(コハラ ヨリコ) 小原 依子 (令和4年4月)	(アキヤマ マナブ) 秋山 学 (令和6年4月) (イケジリ ヨシタカ) 池尻 義隆 (令和7年4月)	変更理由：任期満了に伴う変更 変更年月日：令和6年4月1日 報告年度：(6) 変更理由：前学科長の退任に伴う変更 変更年月日：令和7年4月1日 報告年度：(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理学科 学士（心理学）	文学関係	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人	—	文学部国際教養学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	80人 (-) [-]	人 (-) [-]	80人 (-) [-]	人 (-) [-]	80人 (-) [-]	人 (-) [-]	80人 (-) [-]	人 (-) [-]	—	1.04倍	—		
志願者数	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	823 (-) [-]	— (-) [-]	687 (-) [-]	— (-) [-]	677 (-) [-]	— (-) [-]	366 (-) [-]	— (-) [-]					春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳
受験者数	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	735 (-) [-]	— (-) [-]	535 (-) [-]	— (-) [-]	520 (-) [-]	— (-) [-]	317 (-) [-]	— (-) [-]					—
合格者数	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	181 (-) [-]	— (-) [-]	188 (-) [-]	— (-) [-]	144 (-) [-]	— (-) [-]	135 (-) [-]	— (-) [-]					
B 入学者数	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	81 (-) [-]	— (-) [-]	102 (-) [-]	— (-) [-]	84 (-) [-]	— (-) [-]	78 (-) [-]	— (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	—		—		1.01		1.27		1.05		0.97						

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	80 [－] (－)	－ [－] (－)	100 [－] (－)	－ [－] (－)	82 [－] (－)	－ [－] (－)	78 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	77 [－] (－)	－ [－] (－)	99 [－] (－)	－ [－] (－)	82 [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	75 [－] (－)	－ [－] (－)	99 [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	75 [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			80 [－] (－)	177 [－] (－)	256 [－] (－)	334 [－] (－)			

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	80 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	1 人	0 人	除籍(1人)
令和5年度	177 人	5 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(2人)
			令和5年度	2 人	0 人	病気療養(2人)
令和6年度	256 人	5 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、所在不明(1人)
			令和5年度	1 人	0 人	除籍(1人)
			令和6年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
令和7年度	334 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合 計		11 人		11 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{81} = \boxed{1.23} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{5}{182} = \boxed{2.74} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{5}{261} = \boxed{1.91} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{334} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学共通教養科目	基幹科目	基礎Ⅰ	1前		2							1
		基礎Ⅱ	1後		2							1
		基礎Ⅲ	2後		2							1
		女性Ⅰ	1前		2							1
		女性Ⅱ	1後		2							1
		女性Ⅲ	1前		2							5
		女性Ⅳ	1後		2							1
		神戸学	1前		2							3
	地域	地域学習	1通		2		1					
		小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	12
	語学科目(世界の言語)	英語Ⅰ-1	1前	1								2
		英語Ⅰ-2	1後	1								2
		英語Ⅱ-1	2前		1							4
		英語Ⅱ-2	2後		1							3
		外国語コミュニケーションⅠ	3前		1							3
		外国語コミュニケーションⅡ	3後		1							3
		教養英語Ⅰ-1	1前		1							2
		教養英語Ⅰ-2	1後		1							2
		教養英語Ⅱ-1	2前		1							2
		教養英語Ⅱ-2	2後		1							2
		ドイツ語Ⅰ-1	1前		1							1
		ドイツ語Ⅰ-2	1後		1							1
		フランス語Ⅰ-1	1前		1							1
		フランス語Ⅰ-2	1後		1							1
		フランス語会話Ⅰ	2後		1							1
		フランス語講読Ⅰ	2前		1							1
		中国語Ⅰ-1	1前		1							1
		中国語Ⅰ-2	1後		1							1
		中国語会話Ⅰ	2後		1							1
		中国語講読Ⅰ	2前		1							1
		朝鮮語Ⅰ-1	1前		1							2
		朝鮮語Ⅰ-2	1後		1							2
		朝鮮語会話Ⅰ	2後		1							1
		朝鮮語講読Ⅰ	2前		1							1
		イタリア語Ⅰ-1	1前		1							1
		イタリア語Ⅰ-2	1後		1							1
		イタリア語会話Ⅰ	2後		1							1
		イタリア語講読Ⅰ	2前		1							1
		小計(28科目)	-	2	26	0	0	0	0	0	0	15
	情報科目	情報Ⅰ	1前	2			1		1			
		情報Ⅱ	1後	2			1		1			
		小計(2科目)	-	4	0	0	1	0	1	0	0	0
	ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1								2
		スポーツと健康の科学	2前	2								1
		スポーツ実技Ⅰ-1(球技)	1後		1							1
		スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1後又は2前		1							1
		スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1後又は2前		1							1
		スポーツ実技Ⅲ(卓球)	1後又は2前		1							1
		スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1後又は2前		1							1
		スポーツ実技Ⅴ(学外)	1後又は2前		1							3
		小計(8科目)	-	3	6	0	0	0	0	0	0	6

【令和7年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学共通教養科目	基幹科目	基礎Ⅰ	1前		2							1
		基礎Ⅱ	1後		2							1
		基礎Ⅲ	2後		2							1
		女性Ⅰ	1前		2							1
		女性Ⅱ	1後		2							1
		女性Ⅲ	1後		2							9
		女性Ⅳ	1後		2							1
	地域	神戸学	1前		2							2
		地域学習	1通		2		1			1	1	
		小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	1	1	15
	語学科目(世界の言語)	英語Ⅰ-1	1前	1								2
		英語Ⅰ-2	1後	1								2
		英語Ⅱ-1	2前		1							2
		英語Ⅱ-2	2後		1							2
		外国語コミュニケーションⅠ	3前		1							2
		外国語コミュニケーションⅡ	3後		1							2
		教養英語Ⅰ-1	1前		1							1
		教養英語Ⅰ-2	1後		1							1
		教養英語Ⅱ-1	2前		1							1
		教養英語Ⅱ-2	2後		1							1
		ドイツ語Ⅰ-1	1前		1							1
		ドイツ語Ⅰ-2	1後		1							1
		フランス語Ⅰ-1	1前		1							1
		フランス語Ⅰ-2	1後		1							1
	初習言語	中国語Ⅰ-1	1前		1							1
		中国語Ⅰ-2	1後		1							1
		中国語会話Ⅰ	2後		1							1
		中国語講読Ⅰ(未開講)	2前		1							1
		朝鮮語Ⅰ-1	1前		1							2
		朝鮮語Ⅰ-2	1後		1							2
		朝鮮語会話Ⅰ	2後		1							1
		朝鮮語講読Ⅰ	2前		1							1
		イタリア語Ⅰ-1	1前		1							1
		イタリア語Ⅰ-2	1後		1							1
		小計(24科目)	-	2	22	0	0	0	0	0	0	13
	情報科目	情報A	1前	2			1		1			
		情報B	1前	2					1			
		情報C	1後	2			1		1			
		小計(3科目)	-	4	2	0	1	0	1	0	0	0
	ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1								2
		スポーツと健康の科学	2前	2								1
		スポーツ実技Ⅰ-1(球技)	1後		1							1
		スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1後又は2前		1							2
		スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1後又は2前		1							1
		スポーツ実技Ⅲ(卓球)	1後又は2前		1							3
		スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1後又は2前		1							2
		スポーツ実技Ⅴ(学外)	1後又は2前		1							3
		小計(8科目)	-	3	6	0	0	0	0	0	0	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教養科目	一般科目	人・思想	哲学	1前	2						1
		人・思想	宗教	1前	2						1
		心・からだ	心理学Ⅰ	1前	2						1
		心・からだ	心とからだの健康	1後	2						2
		言葉と文学	言葉と文学Ⅰ	1前	2						1
			言葉と文学Ⅱ	1後	2						1
			言葉と文学Ⅲ	1後	2						1
			手話Ⅰ	1前	2						1
			手話Ⅱ	1後	2						1
		歴史	歴史Ⅰ	1前	2						1
			歴史Ⅱ	1後	2						1
			歴史Ⅲ	1後	2						1
	現代社会	日本国憲法	1前	2							1
		現代社会Ⅰ	1後	2		1					1
		現代社会Ⅱ	1前	2							1
		現代社会Ⅲ	1後	2							1
		現代社会Ⅳ	1後	2							1
		現代社会Ⅴ	1前	2							5
	数学	数学Ⅰ	1前	2							1
		数学Ⅱ	1後	2							1
	自然と環境	自然と環境Ⅰ	1後	2							1
		自然と環境Ⅱ	1前	2							1
	芸術	芸術Ⅰ	1前	2							1
		芸術Ⅱ	1前	2							1
	衣・食・住	衣・食・住Ⅰ	1前	2							1
		衣・食・住Ⅱ	1後	2							5
	教養総合科目	教養総合Ⅰ	1前	2							2
		教養総合Ⅱ	1後	2							3
	小計(28科目)		-	0	56	0	1	0	0	0	29
	演習科目	教養演習Ⅰ	1後	2							2
		教養演習Ⅱ	2前	2							2
		小計(2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	2
専門科目	心理学基幹科目	心理学概論Ⅰ	1前	2		1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2		1					
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)	1前	2		1					
		神経・生理心理学	1後	2							1
		知覚・認知心理学	1後	2			1				
		教育・学校心理学	1後	2							1
		産業・組織心理学	1後	2		1					
		学習・言語心理学	2前	2			1				
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期)	2前	2			1				
		人間の構造と機能・疾患(人間の構造と機能及び疾病)	2前	2					1		1
		心理学研究法	2前	2				1			
		心理学統計法	2前	2				1			
		臨床心理学概論	2後	2		1					
		感情・人格心理学	2後	2							1
	小計(14科目)		-	28	0	0	4	2	1	1	4
	心理学演習科目	心理学基礎演習	1前	2			7	2	1	1	
		心理学実験演習Ⅰ	1後	2			1		1	1	
		心理学実験演習Ⅱ	2前	2						1	1
		上級心理学実験演習Ⅰ	3前	2			1				
		上級心理学実験演習Ⅱ	3後	2					1	1	
		心理学研究総合演習Ⅰ	3前	2			7	1	1		
		心理学研究総合演習Ⅱ	3後	2			7	1	1		
		専門セミナーⅠ	3前	2			7	2	1	1	
		専門セミナーⅡ	3後	2			7	2	1	1	
		心理演習	3後	2			2	1			
		卒業研究Ⅰ	4前	4			7	2	1	1	
		卒業研究Ⅱ	4後	4			7	2	1	1	
	小計(12科目)		-	22	6	0	7	2	1	1	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教養科目	一般科目	人・思想	哲学	1前	2						1
		人・思想	宗教	1前	2						1
		心・からだ	心理学Ⅰ(未開講)	1前	2		2	2			
		心・からだ	心とからだの健康	1後	2		1				7
		言葉と文学	言葉と文学Ⅰ	1前	2						1
			言葉と文学Ⅱ	1後	2						1
			言葉と文学Ⅲ(未開講)	1後	2						1
			手話Ⅰ	1前	2						1
			手話Ⅱ	1後	2						1
		歴史	歴史Ⅰ	1前	2						1
			歴史Ⅱ	1後	2						1
			歴史Ⅲ(未開講)	1後	2						1
	現代社会	日本国憲法	1前	2							1
		現代社会Ⅰ	1後	2							1
		現代社会Ⅱ	1前	2		1					
		現代社会Ⅲ	1後	2							1
		現代社会Ⅳ	1後	2							1
		現代社会Ⅴ	1前	2							8
	数学	数学Ⅰ(未開講)	1前	2							1
		数学Ⅱ	1後	2							1
	自然と環境	自然と環境Ⅰ	1後	2							1
		自然と環境Ⅱ	1前	2							1
	衣・食・住	衣・食・住Ⅰ	1前	2							1
		衣・食・住Ⅱ	1後	2							5
	芸術	芸術Ⅰ	1前	2							1
		芸術Ⅱ	1前	2							1
	教養総合科目	教養総合Ⅰ	1前	2							2
		教養総合Ⅱ	1後	2							3
	小計(28科目)		-	0	56	0	3	2	0	0	34
	演習科目	教養演習Ⅰ	1後	2							2
		教養演習Ⅱ	2前	2			1			1	2
		小計(2科目)	-	0	4	0	1	0	0	1	2
専門科目	心理学基幹科目	心理学概論Ⅰ	1前	2			1				
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1				
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)	1前	2			1				
		神経・生理心理学	1後	2							1
		知覚・認知心理学	1後	2				1			
		教育・学校心理学	1後	2							1
		産業・組織心理学	1後	2			1				
		学習・言語心理学	2前	2					1		
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期)	2前	2					1		
		人間の構造と機能・疾患(人間の構造と機能及び疾病)	2前	2				1			
		心理学研究法	2前	2						1	1
		心理学統計法	2前	2					1		
		臨床心理学概論	2後	2			1				
		感情・人格心理学	2後	2							1
	小計(14科目)		-	28	0	0	4	2	1	1	3
	心理学演習科目	心理学基礎演習	1前	2			2	1	1	1	2
		心理学実験演習Ⅰ	1後	2				1		1	2
		心理学実験演習Ⅱ	2前	2			1	1			2
		上級心理学実験演習Ⅰ	3前	2				1			
		上級心理学実験演習Ⅱ	3後	2					1		1
		心理学研究総合演習Ⅰ	3前	2			5	1	1	2	2
		心理学研究総合演習Ⅱ	3後	2			5	1	1	2	2
		専門セミナーⅠ	3前	2			5	2	1	2	
		専門セミナーⅡ	3後	2			5	2	1	2	
		心理演習	3後	2			3	2		1	
		卒業研究Ⅰ	4前	4			5	2	1	2	
		卒業研究Ⅱ	4後	4			5	2	1	2	
	小計(12科目)		-	22	6	0	6	2	1	2	2

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	心の脳科学	2後	2			1					
	公認心理師の職責	2後	2								1
	発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後	2								1
	障がい児・障がい者心理学(障害者・障害児心理学)	2後	2			1					
	心理学的支援法	3前	2				1				
	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	3前	2						1		
	精神医学(精神疾患とその治療)	3前	2			1					
	カウンセリング	3前	2			1					
	心理的アセスメント	3前	2								1
	健康・医療心理学	3後	2								1
	心理検査法実習	3後	1				1			1	
	関係行政論	4前	2								1
	司法・犯罪心理学	4前	2								1
	臨床心理実習Ⅰ	4前	1			3	1		1	1	
	臨床心理実習Ⅱ	4後	1			3	1		1	1	
	福祉心理学	4後	2								1
	サービスデザイン心理学	2後	2								1
	行動経済学概論	2後	2			1					
	産業カウンセリング	3前	2								1
	経営組織論	3前	2			1					
	心理調査概論	3前	2			1					
	消費者心理学	3後	2			1					
	ビジネスコミュニケーション	3後	2								1
	プロモーションの心理学	3後	2								1
	ブランドと人間行動	4前	2								1
	交渉の心理学	4後	2								1
	メディア心理学Ⅰ	2後	2			1					
	メディア心理学Ⅱ	3前	2			1					
	メディア倫理	2後	2			1					
	メディアと人間行動	3前	2								2
	認知システム論	3後	2								1
	メディアとデザインの心理学	4前	2								2
	広告心理学	4後	2			1					
	小計(33科目)	-	0	63	0	6	1	0	1	1	13
関連科目	データサイエンス入門	1前	2					1			
	コンピュータネットワーク	1後	2					1		1	
	プログラミング	2前	2			1					
	女性とビジネス	2後	2								1
	多変量解析	2後	2								1
	経営学概論	3前	2			1					
	マーケティング	3前	2								1
	ITビジネス	3後	2			1					
	人間行動ビッグデータ解析	3後	2					1			
	小計(9科目)	-	0	18	0	2	0	1	0	1	3
合計(145科目)			-	59	197	0	7	2	1	2	76
卒業要件及び履修方法											
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	心の脳科学	2後	2			1					
	公認心理師の職責	2後	2			2	1		1		
	発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後	2								1
	障がい児・障がい者心理学(障害者・障害児心理学)	2後	2			1					
	心理学的支援法	3前	2				1				
	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	3前	2						1		
	精神医学(精神疾患とその治療)	3前	2			1					
	カウンセリング	3前	2			1					
	心理的アセスメント	3前	2								1
	健康・医療心理学	3後	2								1
	心理検査法実習	3後	1				1			1	
	関係行政論	4前	2								1
	司法・犯罪心理学	4前	2								1
	臨床心理実習Ⅰ	4前	1			2	1		1	1	
	臨床心理実習Ⅱ	4後	1			2	1		1	1	
	福祉心理学	4後	2								1
	サービスデザイン心理学	2後	2								1
	行動経済学概論	2後	2			1					
	産業カウンセリング	3前	2								1
	経営組織論	3前	2			1					
	心理調査概論	3前	2			1					
	消費者心理学	3後	2			1					
	ビジネスコミュニケーション	3後	2								1
	プロモーションの心理学	3後	2								1
	ブランドと人間行動	4前	2						1		
	交渉の心理学	4後	2								1
	メディア心理学Ⅰ	2後	2			1					
	メディア心理学Ⅱ	3前	2			1					
	メディア倫理	2後	2			1					
	メディアと人間行動	3前	2								2
	認知システム論	3後	2								1
	メディアとデザインの心理学	4前	2								2
	広告心理学	4後	2			1					
	小計(33科目)	-	0	63	0	6	1	0	2	1	12
関連科目	データサイエンス入門	1前	2					1		1	
	コンピュータネットワーク	1後	2					1			
	プログラミング	2前	2			1					
	女性とビジネス	2後	2								1
	多変量解析	2後	2								1
	経営学概論	3前	2			1					
	マーケティング	3前	2						1		
	ITビジネス	3後	2			1					
	人間行動ビッグデータ解析	3後	2					1			
	小計(9科目)	-	0	18	0	2	0	1	1	1	2
合計(142科目)			-	59	195	0	7	2	1	2	82
卒業要件及び履修方法											
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))											

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通教養科目	基幹科目	基礎	基礎Ⅰ	1前		2							1		
			基礎Ⅱ	1後		2							1		
			基礎Ⅲ	2後		2							1		
		女性	女性Ⅰ	1前		2								1	
			女性Ⅱ	1後		2								1	
			女性Ⅲ	1後		2								10	
			女性Ⅳ	1後		2								1	
		地域	神戸学	1前		2								3	
	地域学習		1通		2		2			1					
		小計(9科目)	-	0	18	0	2	0	0	1	0		17		
	語学科目（世界の言語）	英語	英語Ⅰ-1	1前	1									2	
			英語Ⅰ-2	1後	1									2	
			英語Ⅱ-1	2前		1								2	
			英語Ⅱ-2	2後		1								2	
			外国語コミュニケーションⅠ(未開講)	3前		1								2	
			外国語コミュニケーションⅡ	3後		1								2	
			教養英語Ⅰ-1	1前		1								1	
			教養英語Ⅰ-2	1後		1								1	
			教養英語Ⅱ-1	2前		1								1	
			教養英語Ⅱ-2	2後		1								1	
		ドイツ語・フランス語	ドイツ語Ⅰ-1	1前		1								1	
			ドイツ語Ⅰ-2	1後		1								1	
			フランス語Ⅰ-1	1前		1								1	
			フランス語Ⅰ-2	1後		1								1	
			中国語・朝鮮語・イタリア語	中国語Ⅰ-1	1前		1								1
				中国語Ⅰ-2	1後		1								1
				中国語会話Ⅰ(未開講)	2後		1								1
				中国語講読Ⅰ(未開講)	2前		1								1
				朝鮮語Ⅰ-1	1前		1								2
				朝鮮語Ⅰ-2	1後		1								2
		朝鮮語会話Ⅰ		2後		1								1	
		朝鮮語講読Ⅰ		2前		1								1	
		イタリア語Ⅰ-1		1前		1								1	
		イタリア語Ⅰ-2		1後		1								1	
			小計(24科目)	-	2	22	0	0	0	0	0	0		13	
		情報科目	情報A	1前	2			1							
			情報B	1前		2				1					
			情報C	1後	2			1		1					
	小計(3科目)		-	4	2	0	1	0	1	0	0		0		
	ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1									2		
		スポーツと健康の科学	2前	2									1		
		スポーツ実技Ⅰ-1(球技)(未開講)	1後		1								1		
		スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	(後5:15時)		1								2		
スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)		(後5:15時)		1								1			
スポーツ実技Ⅲ(卓球)		(後5:15時)		1								3			
スポーツ実技Ⅳ(テニス)(未開講)		(後5:15時)		1								2			
スポーツ実技Ⅴ(学外)(未開講)		(後5:15時)		1								3			
小計(8科目)		-	3	6	0	0	0	0	0	0		7			

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
全学共通教養科目	基幹科目	基礎Ⅰ	1前		2								1	
		基礎Ⅱ	1後		2								1	
		基礎Ⅲ	2後		2								1	
		女性Ⅰ	1前		2								1	
		女性Ⅱ	1後		2								1	
		女性Ⅲ	1後		2								10	
		女性Ⅳ	1後		2								1	
	地域	神戸学	1前		2								3	
		地域学習	1通		2		1			1				
		小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	1	0		17	
	語学科目（世界の言語）	英語	英語Ⅰ-1	1前	1									2
			英語Ⅰ-2	1後	1									2
			英語Ⅱ-1	2前		1								1
			英語Ⅱ-2	2後		1								1
			外国語コミュニケーションⅠ	3前		1								3
			外国語コミュニケーションⅡ	3後		1								3
			教養英語Ⅰ-1	1前		1								1
			教養英語Ⅰ-2	1後		1								1
			教養英語Ⅱ-1	2前		1								1
		教養英語Ⅱ-2	2後		1								1	
		初習言語	ドイツ語Ⅰ-1	1前		1								1
			ドイツ語Ⅰ-2	1後		1								1
			フランス語Ⅰ-1	1前		1								1
			フランス語Ⅰ-2	1後		1								1
			フランス語会話Ⅰ	2後		1								1
			フランス語講読Ⅰ(未開講)	2前		1								1
			中国語Ⅰ-1	1前		1								1
			中国語Ⅰ-2	1後		1								1
			中国語会話Ⅰ(未開講)	2後		1								1
			中国語講読Ⅰ(未開講)	2前		1								1
			朝鮮語Ⅰ-1	1前		1								2
			朝鮮語Ⅰ-2	1後		1								2
			朝鮮語会話Ⅰ	2後		1								1
			朝鮮語講読Ⅰ(未開講)	2前		1								1
			イタリア語Ⅰ-1(未開講)	1前		1								1
			イタリア語Ⅰ-2(未開講)	1後		1								1
			イタリア語会話Ⅰ(未開講)	2後		1								1
			イタリア語講読Ⅰ(未開講)	2前		1								1
				小計(28科目)	-	2	26	0	0	0	0	0	0	
	情報科目	情報A	1前	2			1		1					
		情報B	1前		2				1					
		情報C	1後	2			1		1					
		小計(3科目)	-	4	2	0	1	0	1	0	0		0	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1									2		
	スポーツと健康の科学	2前	2									1		
	スポーツ実技Ⅰ-1(球技)(未開講)	1後		1								1		
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)			1								2		
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)			1								1		
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)			1								3		
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)			1								2		
	スポーツ実技Ⅴ(学外)(未開講)			1								2		
	小計(8科目)	-	3	6	0	0	0	0	0	0		6		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学共通教養科目	人 と 思 想	哲学	1前	2							1
		宗教	1前	2							1
	心 と か ら だ の 健 康	心理学Ⅰ(未開講)	1前	2		2	1		1		
		心とからだの健康	1後	2							6
	言 葉 と 文 学	言葉と文学Ⅰ	1前	2							1
		言葉と文学Ⅱ(未開講)	1後	2							1
		言葉と文学Ⅲ	1後	2							1
		手話Ⅰ	1前	2							1
		手話Ⅱ	1後	2							1
	歴 史	歴史Ⅰ	1前	2							1
		歴史Ⅱ(未開講)	1後	2							1
		歴史Ⅲ	1後	2							1
	現 代 社 会	日本国憲法	1前	2							1
		現代社会Ⅰ(未開講)	1後	2							1
		現代社会Ⅱ	1前	2		1					
		現代社会Ⅲ(未開講)	1後	2							1
		現代社会Ⅳ	1後	2							1
		現代社会Ⅴ	1前	2							10
	数 学	数学Ⅰ	1前	2							1
		数学Ⅱ	1後	2							1
	自 然 と 環 境	自然と環境Ⅰ	1後	2							1
		自然と環境Ⅱ	1前	2							1
		衣・食・住Ⅰ	1前	2							1
		衣・食・住Ⅱ	1後	2							5
	芸 術	芸術Ⅰ	1前	2							1
		芸術Ⅱ	1前	2							1
	教 養 総 合 科 目	教養総合Ⅰ	1前	2							2
		教養総合Ⅱ	1後	2							3
	小計(28科目)	-	0	56	0	3	1	0	1	0	34
	演 習 科 目	教養演習Ⅰ	1後	2		2			1		2
		教養演習Ⅱ	2前	2		1			1		2
		小計(2科目)	-	0	4	0	3	0	1	0	2
専門科目	心 理 学 基 幹 科 目	心理学概論Ⅰ	1前	2		1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2		1					
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)	1前	2		1					
		神経・生理心理学	1後	2							1
		知覚・認知心理学	1後	2			1				
		教育・学校心理学	1後	2							1
		産業・組織心理学	1後	2		1					
		学習・言語心理学	2前	2			1				
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期)	2前	2			1				
		人間の構造と機能・疾患(人間の構造と機能及び疾病)	2前	2		1					1
		心理学研究法	2前	2				1			1
		心理学統計法	2前	2				1			
		臨床心理学概論	2後	2		1					
		感情・人格心理学	2後	2							1
		小計(14科目)	-	28	0	0	5	2	1	1	3
	心 理 学 演 習 科 目	心理学基礎演習	1前	2		1	1	1	2	1	
		心理学実験演習Ⅰ	1後	2			1		1	2	
		心理学実験演習Ⅱ	2前	2		1		1		2	1
		上級心理学実験演習Ⅰ	3前	2			1				
		上級心理学実験演習Ⅱ	3後	2					1		1
		心理学研究総合演習Ⅰ	3前	2		4	2	1	2	2	
		心理学研究総合演習Ⅱ	3後	2		4	2	1	2	2	
		専門セミナーⅠ	3前	2		5	2	1	2		
		専門セミナーⅡ	3後	2		5	2	1	2		
		心理演習	3後	2		2	2		1	1	
		卒業研究Ⅰ	4前	4		7	2	1	1		
		卒業研究Ⅱ	4後	4		7	2	1	1		
		小計(12科目)	-	22	6	0	7	2	1	2	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学共通教養科目	人 と 思 想	哲学	1前	2							1
		宗教	1前	2							1
	心 と か ら だ の 健 康	心理学Ⅰ(未開講)	1前	2		1	1	1	1		
		心とからだの健康	1後	2							7
	言 葉 と 文 学	言葉と文学Ⅰ	1前	2							1
		言葉と文学Ⅱ	1後	2							1
		言葉と文学Ⅲ(未開講)	1後	2							1
		手話Ⅰ	1前	2							1
		手話Ⅱ	1後	2							1
	歴 史	歴史Ⅰ	1前	2							1
		歴史Ⅱ(未開講)	1後	2							1
		歴史Ⅲ(未開講)	1後	2							1
	現 代 社 会	日本国憲法(未開講)	1前	2							1
		現代社会Ⅰ	1後	2							1
		現代社会Ⅱ	1前	2		1					
		現代社会Ⅲ	1後	2							1
		現代社会Ⅳ	1後	2							1
		現代社会Ⅴ	1前	2							9
	数 学	数学Ⅰ	1前	2							1
		数学Ⅱ	1後	2							1
	自 然 と 環 境	自然と環境Ⅰ	1後	2							1
		自然と環境Ⅱ	1前	2							1
		衣・食・住Ⅰ	1前	2							1
		衣・食・住Ⅱ	1後	2							5
	芸 術	芸術Ⅰ	1前	2							1
		芸術Ⅱ	1前	2							1
	教 養 総 合 科 目	教養総合Ⅰ	1前	2							2
		教養総合Ⅱ	1後	2							3
	小計(28科目)	-	0	56	0	2	1	1	1	0	32
	演 習 科 目	教養演習Ⅰ	1後	2		2			1		2
		教養演習Ⅱ	2前	2		1			1		2
		小計(2科目)	-	0	4	0	3	0	1	0	2
専門科目	心 理 学 基 幹 科 目	心理学概論Ⅰ	1前	2			1				
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1				
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)	1前	2			1				
		神経・生理心理学	1後	2							1
		知覚・認知心理学	1後	2				1			
		教育・学校心理学	1後	2							1
		産業・組織心理学	1後	2			1				
		学習・言語心理学	2前	2				1			
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期)	2前	2				1			
		人間の構造と機能・疾患(人間の構造と機能及び疾病)	2前	2							1
		心理学研究法	2前	2						1	
		心理学統計法	2前	2				1			
		臨床心理学概論	2後	2			1				
		感情・人格心理学	2後	2							1
		小計(14科目)	-	28	0	0	4	2	1	1	4
	心 理 学 演 習 科 目	心理学基礎演習	1前	2			2	1		2	
		心理学実験演習Ⅰ	1後	2				1		1	
		心理学実験演習Ⅱ	2前	2			1			1	1
		上級心理学実験演習Ⅰ	3前	2				1			
		上級心理学実験演習Ⅱ	3後	2					1	1	
		心理学研究総合演習Ⅰ	3前	2			7	1	1		
		心理学研究総合演習Ⅱ	3後	2			7	1	1		
		専門セミナーⅠ	3前	2			7	2	1	1	
		専門セミナーⅡ	3後	2			7	2	1	1	
		心理演習	3後	2			2	1			
		卒業研究Ⅰ	4前	4			7	2	1	1	
		卒業研究Ⅱ	4後	4			7	2	1	1	
		小計(12科目)	-	22	6	0	7	2	1	2	1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	心理学 応用科目	心の脳科学	2後		2		1						
		公認心理師の職責	2後		2		2	1		1			
		発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後		2								1
		障がい児・障がい者心理学 (障害者・障害児心理学)	2後		2		1						
		心理学的支援法	3前		2			1					
		家族心理学(社会・集団・家族心理学)	3前		2					1			
		精神医学(精神疾患とその治療)	3前		2		1						
		カウンセリング	3前		2		1						
		心理的アセスメント	3前		2						1		1
		健康・医療心理学	3後		2								1
		心理検査法実習	3後		1			1			1		
		関係行政論	4前		2								1
		司法・犯罪心理学	4前		2								1
		臨床心理実習Ⅰ	4前		1		3	1		1	1		
		臨床心理実習Ⅱ	4後		1		3	1		1	1		
		福祉心理学	4後		2								1
		サービスデザイン心理学	2後		2								1
		行動経済学概論	2後		2		1						
		産業カウンセリング	3前		2								1
		経営組織論	3前		2		1						
		心理調査概論	3前		2		1						
		消費者心理学	3後		2		1						
		ビジネスコミュニケーション	3後		2								1
		プロモーションの心理学	3後		2								1
		ブランドと人間行動	4前		2								1
		交渉の心理学	4後		2								1
		メディア心理学Ⅰ	2後		2		1						
		メディア心理学Ⅱ	3前		2		1						
	メディア倫理	2後		2		1							
	メディアと人間行動	3前		2								2	
	認知システム論	3後		2								1	
	メディアとデザインの心理学	4前		2								2	
	広告心理学	4後		2		1							
		小計(33科目)	-	0	63	0	6	1	0	1	2	13	
	関連 科目	データサイエンス入門	1前		2				1				
コンピュータネットワーク		1後		2				1					
プログラミング		2前		2		1							
女性とビジネス		2後		2							1		
多変量解析		2後		2							1		
経営学概論		3前		2		1							
マーケティング		3前		2					1				
ITビジネス		3後		2		1							
人間行動ビッグデータ解析		3後		2				1					
	小計(9科目)	-	0	18	0	2	0	1	1	0	2		
合計(142科目)			-	59	195	0	7	2	1	2	3	84	
卒業要件及び履修方法													
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	心 理 学 応 用 科 目	心の脳科学	2後		2		1						
		公認心理師の職責	2後		2								1
		発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後		2								1
		障がい児・障がい者心理学 (障害者・障害児心理学)	2後		2		1						
		心理学的支援法	3前		2			1					
		家族心理学(社会・集団・家族心理学)	3前		2					1			
		精神医学(精神疾患とその治療)	3前		2		1						
		カウンセリング	3前		2		1						
		心理的アセスメント	3前		2								1
		健康・医療心理学	3後		2								1
		心理検査法実習	3後		1			1			1		
		関係行政論	4前		2								1
		司法・犯罪心理学	4前		2								1
		臨床心理実習Ⅰ	4前		1		3	1		1	1		
		臨床心理実習Ⅱ	4後		1		3	1		1	1		
		福祉心理学	4後		2								1
		サービスデザイン心理学	2後		2								1
		行動経済学概論	2後		2		1						
		産業カウンセリング	3前		2								1
		経営組織論	3前		2		1						
		心理調査概論	3前		2		1						
		消費者心理学	3後		2		1						
		ビジネスコミュニケーション	3後		2								1
		プロモーションの心理学	3後		2								1
		ブランドと人間行動	4前		2								1
		交渉の心理学	4後		2								1
	メディア心理学Ⅰ	2後		2		1							
	メディア心理学Ⅱ	3前		2		1							
	メディア倫理	2後		2		1							
	メディアと人間行動	3前		2								2	
	認知システム論	3後		2								1	
	メディアとデザインの心理学	4前		2								2	
	広告心理学	4後		2		1							
		小計(33科目)	－	0	63	0	6	1	0	1	1	14	
	関 連 科 目	データサイエンス入門	1前		2				1				
		コンピュータネットワーク	1後		2				1		1		
		プログラミング	2前		2		1						
		女性とビジネス	2後		2							1	
		多変量解析	2後		2							1	
		経営学概論	3前		2		1						
		マーケティング	3前		2							1	
		ITビジネス	3後		2		1						
		人間行動ビッグデータ解析	3後		2				1				
	小計(9科目)	－	0	18	0	2	0	1	0	1	3		
合計(146科目)			－	59	199	0	7	2	1	2	2	83	
卒業要件及び履修方法													
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))													

【令和4年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担			
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通教養科目	基幹科目	基礎	基礎Ⅰ	1前		2								1		
			基礎Ⅱ	1後		2								1		
			基礎Ⅲ	2後		2								1		
		女性	女性Ⅰ	1前		2									1	
			女性Ⅱ	1後		2									1	
			女性Ⅲ	1前		2									6	
			女性Ⅳ(未開講)	1後		2									1	
		地域	神戸学	1前		2									3	
			地域学習	1通		2		1				1				
			小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0		1	0		13	
	語学科目（世界の言語）	英語	英語Ⅰ-1	1前	1										2	
			英語Ⅰ-2	1後	1										2	
			英語Ⅱ-1	2前		1									4	
			英語Ⅱ-2	2後		1									3	
			外国語コミュニケーションⅠ	3前		1									3	
			外国語コミュニケーションⅡ	3後		1									3	
			教養英語Ⅰ-1	1前		1									1	
			教養英語Ⅰ-2	1後		1									1	
			教養英語Ⅱ-1	2前		1									2	
			教養英語Ⅱ-2	2後		1									2	
		初習言語	ドイツ語Ⅰ-1	1前		1									1	
			ドイツ語Ⅰ-2	1後		1									1	
			フランス語Ⅰ-1	1前		1									1	
			フランス語Ⅰ-2	1後		1									1	
			フランス語会話Ⅰ	2後		1									1	
			フランス語講読Ⅰ(未開講)	2前		1									1	
			中国語Ⅰ-1	1前		1									1	
			中国語Ⅰ-2	1後		1									1	
			中国語会話Ⅰ	2後		1									1	
			中国語講読Ⅰ	2前		1									1	
			朝鮮語Ⅰ-1	1前		1									2	
			朝鮮語Ⅰ-2	1後		1									2	
			朝鮮語会話Ⅰ	2後		1									1	
			朝鮮語講読Ⅰ	2前		1									1	
			イタリア語Ⅰ-1	1前		1									1	
			イタリア語Ⅰ-2	1後		1									1	
			イタリア語会話Ⅰ	2後		1									1	
			イタリア語講読Ⅰ(未開講)	2前		1									1	
				小計(28科目)	-	2	26	0	0	0	0	0	0	0		14
			情報科目	情報Ⅰ	1前	2				1		1				
		情報Ⅱ		1後	2				1		1					
		小計(2科目)		-	4	0	0	1	0	1	0	0	0		0	
		ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1										2	
			スポーツと健康の科学	2前	2										1	
	スポーツ実技Ⅰ-1(球技)(未開講)		1後		1									1		
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)(未開講)		18.2.12開		1									1		
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)		18.2.12開		1									1		
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)		18.2.12開		1									1		
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)(未開講)		18.2.12開		1									1		
	スポーツ実技Ⅴ(学外)		18.2.12開		1									3		
	小計(8科目)		-	3	6	0	0	0	0	0	0	0		6		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通教養科目	一般科目	人 と 思 想	哲学	1前		2							1		
		宗教	1前		2								1		
		心 と か ら だ の 健 康	心理学Ⅰ(未開講)	1前		2								1	
			心とからだの健康	1後		2								7	
			言葉と文学	言葉と文学Ⅰ(未開講)	1前		2								1
				言葉と文学Ⅱ(未開講)	1後		2								1
				言葉と文学Ⅲ(未開講)	1後		2								1
				手話Ⅰ	1前		2								1
				手話Ⅱ	1後		2								1
			歴史	歴史Ⅰ	1前		2								1
		歴史Ⅱ(未開講)		1後		2								1	
		歴史Ⅲ(未開講)		1後		2								1	
		現代社会	日本国憲法	1前		2								1	
			現代社会Ⅰ(未開講)	1後		2								1	
			現代社会Ⅱ(未開講)	1前		2		1							
			現代社会Ⅲ	1後		2								1	
			現代社会Ⅳ	1後		2								1	
			現代社会Ⅴ	1前		2								9	
		数学	数学Ⅰ	1前		2								1	
			数学Ⅱ	1後		2								1	
	自然と環境	自然と環境Ⅰ	1後		2								1		
		自然と環境Ⅱ	1前		2								1		
	芸術	芸術Ⅰ	1前		2								1		
		芸術Ⅱ	1前		2								1		
	衣・食・住	衣・食・住Ⅰ	1前		2								1		
		衣・食・住Ⅱ	1後		2								5		
	教養総合科目	教養総合Ⅰ	1前		2								2		
		教養総合Ⅱ(未開講)	1後		2								3		
		小計(28科目)	－	0	56	0	1	0	0	0	0		34		
	演習科目	教養演習Ⅰ(未開講)	1後		2								2		
		教養演習Ⅱ	2前		2								2		
		小計(2科目)	－	0	4	0	1	0	0	0	0		2		
専門科目	心理学基幹科目	心理学概論Ⅰ	1前	2				1							
		心理学概論Ⅱ	1後	2				1							
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)	1前	2				1							
		神経・生理心理学	1後	2									1		
		知覚・認知心理学	1後	2					1						
		教育・学校心理学	1後	2									1		
		産業・組織心理学	1後	2				1							
		学習・言語心理学	2前	2					1						
		発達心理学A(青年期・成人期・高齢期)	2前	2					1						
		人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)	2前	2									1		
		心理学研究法	2前	2							1				
		心理学統計法	2前	2							1				
		臨床心理学概論	2後	2				1							
		感情・人格心理学	2後	2									1		
		小計(14科目)	－	28	0	0	4	2	1	1	0		4		
	心理学演習科目	心理学基礎演習	1前	2				7	2	1	2				
		心理学実験演習Ⅰ	1後	2					1		1	1			
		心理学実験演習Ⅱ	2前	2								1	1		
		上級心理学実験演習Ⅰ	3前		2				1			1			
		上級心理学実験演習Ⅱ	3後		2						1	1			
		心理学研究総合演習Ⅰ	3前	2				7	1	1					
		心理学研究総合演習Ⅱ	3後	2				7	1	1					
		専門セミナーⅠ	3前	2				7	2	1	1				
		専門セミナーⅡ	3後	2				7	2	1	1				
		心理演習	3後		2			2	1						
		卒業研究Ⅰ	4前	4				7	2	1	1				
		卒業研究Ⅱ	4後	4				7	2	1	1				
		小計(12科目)	－	22	6	0	7	2	1	2	1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目	心 理 学 応 用 科 目	心の脳科学	2後		2		1						
		公認心理師の職責	2後		2								1
		発達心理学B(乳幼児期・児童期)	2後		2								1
		障がい児・障がい者心理学 (障害者・障害児心理学)	2後		2		1						
		心理学的支援法	3前		2			1					
		家族心理学(社会・集団・家族心理学)	3前		2					1			
		精神医学(精神疾患とその治療)	3前		2		1						
		カウンセリング	3前		2		1						
		心理的アセスメント	3前		2								1
		健康・医療心理学	3後		2								1
		心理検査法実習	3後		1			1				1	
		関係行政論	4前		2								1
		司法・犯罪心理学	4前		2								1
		臨床心理実習Ⅰ	4前		1		3	1			1	1	
		臨床心理実習Ⅱ	4後		1		3	1			1	1	
		福祉心理学	4後		2								1
		サービスデザイン心理学	2後		2								1
		行動経済学概論	2後		2			1					
		産業カウンセリング	3前		2								1
		経営組織論	3前		2			1					
		心理調査概論	3前		2			1					
		消費者心理学	3後		2			1					
		ビジネスコミュニケーション	3後		2								1
		プロモーションの心理学	3後		2								1
	ブランドと人間行動	4前		2								1	
	交渉の心理学	4後		2								1	
	メディア心理学Ⅰ	2後		2			1						
	メディア心理学Ⅱ	3前		2			1						
	メディア倫理	2後		2			1						
	メディアと人間行動	3前		2								2	
	認知システム論	3後		2								1	
	メディアとデザインの心理学	4前		2								2	
	広告心理学	4後		2			1						
	小計(33科目)	—	0	63	0	6	1	0	1	1		13	
関 連 科 目	データサイエンス入門	1前		2				1					
	コンピュータネットワーク	1後		2				1		1			
	プログラミング	2前		2		1							
	女性とビジネス	2後		2								1	
	多変量解析	2後		2								1	
	経営学概論	3前		2		1							
	マーケティング	3前		2								1	
	ITビジネス	3後		2		1							
	人間行動ビッグデータ解析	3後		2				1					
	小計(9科目)	—	0	18	0	2	0	1	0	1		3	
合計(145科目)		—	59	197	0	7	2	1	2	2	80		
卒業要件及び履修方法													
全学共通教養科目20単位以上、専門科目80単位以上、全学共通教養科目又は専門科目を24単位以上、合計124単位を修得すること。 なお、全学共通教養科目については、語学科目(世界の言語)のうち「英語Ⅰ-1」、「英語Ⅰ-2」を含む6単位以上、またウェルネス科目は3単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))													

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・授業内容の充実を図り、「女性Ⅲ」の兼任・兼任を「5」から「6」へ変更。
- ・新採用教員の追加に伴い、担当授業科目を調整し授業内容の充実を図り、「地域学習」の専任教員等の配置を「助教1」を追加変更。
- ・新採用教員の追加に伴い、担当授業科目を調整し授業内容の充実を図り、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「教養英語Ⅰ-1」及び「教養英語Ⅰ-2」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心とからだの健康」の兼任・兼任を「2」から「7」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「現代社会Ⅴ」の兼任・兼任を「5」から「9」へ変更。

【令和5年度】

- ・教育効果を高める為、「女性Ⅲ」の開講期を「1前」から「1後」に変更し、兼任・兼任を「6」から「10」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「英語Ⅱ-1」の兼任・兼任を「4」から「1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「英語Ⅱ-2」の兼任・兼任を「3」から「1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「教養英語Ⅱ-1」及び「教養英語Ⅱ-2」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」に対応する為、「情報Ⅰ」を「情報A」に、「情報Ⅱ」を「情報C」に名称変更し、「情報B」を新設。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅲ（卓球）」の兼任・兼任を「1」から「3」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅳ（テニス）」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅴ（学外）」の兼任・兼任を「3」から「2」へ変更。
- ・担当者辞退の為、「心理学Ⅰ」をオムニバス科目とし、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」・「准教授1」・「講師1」・「助教1」へ変更。
- ・カリキュラム・ポリシーにより合致させるため、「衣・食・住Ⅰ」と「衣・食・住Ⅱ」の科目区分を「衣・食・住」から「自然と環境」に変更し、「衣・食・住」の科目区分を廃止。
- ・授業内容の充実を図り、「教養演習Ⅰ」に「教授2」・「助教1」を追加。
- ・授業内容の充実を図り、「教養演習Ⅱ」に「教授1」・「助教1」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「教授7・准教授2・講師1・助教1」から「教授2・准教授1・助教2」に変更。
- ・兼任・兼任教員の辞退により、「心理学実験演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を変更し、教育内容の充実を図る為、「教授1」を追加。

【令和6年度】

- ・授業内容の充実を図り、「地域学習」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授2・助教1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「英語Ⅱ-1」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「英語Ⅱ-2」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「外国語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼任を「3」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「外国語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任を「3」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「情報A」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅴ（学外）」の兼任・兼任を「2」から「3」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・助教1」から「教授2・准教授1・助教1」へ変更。
- ・兼任・兼任教員の退任により、「心とからだの健康」の兼任・兼任を「7」から「6」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「現代社会Ⅴ」の兼任・兼任を「9」から「10」へ変更。
- ・兼任・兼任教員の教授就任により、「人体の構造と機能・疾患（人体の構造と機能及び疾病）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心理学研究法」に「助手1」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・助教2」から「教授1・准教授1・講師1・助教2」に変更し、教育内容の充実を図る為、「助手1」を追加。
- ・授業内容の充実を図り、「心理学実験演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1・助手1」から「准教授1・助教1・助手2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心理学実験演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・助手1・兼任・兼任1」から「教授1・講師1・助手2・兼任・兼任1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「上級心理学実験演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・助手1」から「准教授1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「上級心理学実験演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1・助手1」から「助教1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学研究総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授1・講師1」から「教授4・准教授2・講師1・助教2」へ変更し、教育内容の充実を図る為、「助手2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学研究総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授1・講師1」から「教授5・准教授2・講師1・助教2」へ変更し、教育内容の充実を図る為、「助手2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「専門セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授2・講師1・助教1」から「教授5・准教授2・講師1・助教2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「専門セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授2・講師1・助教1」から「教授5・准教授2・講師1・助教2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3・准教授2・助教1・助手1」へ変更。
- ・兼任・兼任教員辞退の為、「公認心理師の職責」をオムニバス科目とし、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授3・准教授1・助教1」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心理的アセスメント」に「助手1」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「コンピュータネットワーク」の専任教員等の配置を「講師1・助手1」から「講師1」へ変更。
- ・兼任・兼任教員辞退の為、「マーケティング」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「助教1」へ変更。

【令和7年度】

- ・担当教授の一身上の都合により、「心理学研究総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5・准教授2・講師1・助教2・助手2」から「教授4・准教授2・講師1・助教2・助手2」に変更。（令和6年9月）
- ・担当教授の一身上の都合により、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授3・准教授2・助教1・助手1」から「教授2・准教授2・助教1・助手1」へ変更。（令和6年9月）
- ・担当教授の一身上の都合により、「公認心理師の職責」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・助教1」から「教授2・准教授1・助教1」へ変更。（令和6年9月）
- ・授業時間割編成の調整により、「女性Ⅲ」の兼任・兼任を「10」から「9」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「神戸学」の兼任・兼任を「3」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「地域学習」の専任教員等の配置を「教授2・助教1」から「教授1・助教1・助手1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「情報A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・講師1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・助教1」から「教授2・准教授2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心とからだの健康」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「教授1・兼任・兼任7」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「現代社会Ⅴ」の兼任・兼任を「10」から「8」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「教養演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・助教1・兼任・兼任2」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「心理学統計法」に「助手1」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・助教2・助手1」から「教授2・准教授1・講師1・助教1・助手2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学実験演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助手2・兼任・兼任1」から「教授1・准教授1・助手2・兼任・兼任1」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「上級心理学実験演習Ⅱ」に「助手1」を追加。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学研究総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授2・講師1・助教2・助手2」から「教授5・准教授1・講師1・助教2・助手2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理学研究総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授2・講師1・助教2・助手2」から「教授5・准教授1・講師1・助教2・助手2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2・助教1・助手1」から「教授3・准教授2・助教1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授2・講師1・助教1」から「教授5・准教授2・講師1・助教2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授2・講師1・助教1」から「教授5・准教授2・講師1・助教2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「心理的アセスメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1・助手1」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「臨床心理実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・助教1・助手1」から「教授2・准教授1・助教1・助手1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「臨床心理実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・助教1・助手1」から「教授2・准教授1・助教1・助手1」へ変更。
- ・兼任・兼任教員辞退の為、「ブランドと人間行動」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「助教1」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「データサイエンス入門」に「助手1」を追加。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	116 科目	0 科目	145 科目	29 科目 []	113 科目 [△3]	0 科目 []	142 科目 [△3]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△ 1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	フランス語会話Ⅰ	1	2後	一般	選択	理由：全学共通教養科目再編のため 代替措置：無
2	フランス語講読Ⅰ	1	2前	一般	選択	理由：全学共通教養科目再編のため 代替措置：無
3	イタリア語会話Ⅰ	1	2後	一般	選択	理由：全学共通教養科目再編のため 代替措置：無
4	イタリア語講読Ⅰ	1	2前	一般	選択	理由：全学共通教養科目再編のため 代替措置：無

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教養科目の再編のため2023年度入学生より廃止科目となったが、2022年度以前入学生に対しては該当の開講年次まで開講を保障した。なお、廃止科目と同語を学修する科目として「フランス語Ⅰ-1」、「フランス語Ⅰ-2」、「イタリア語Ⅰ-1」、「イタリア語Ⅰ-2」を引き続き提供している。
学生に対しては、履修の手引きを通じて周知を行った。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{4}{145} = \boxed{2.75} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸女子短期大学（収容定員480人、必要面積4,800㎡）と共用 神戸女子短期大学（収容定員360人、必要面積3,600㎡）と共用 （6） 神戸女子短期大学（収容定員240人、必要面積2,400㎡）と共用 （7） 安全性向上のため駐車場を増設（5）		
	校 舎 敷 地	70,600.00㎡	4,174.00㎡	23,669.04㎡ 24,524.84㎡	98,443.04㎡ 99,298.84㎡			
	そ の 他	62,789.12㎡	0.00㎡	855.80㎡	63,644.92㎡ 62,789.12㎡			
	合 計	133,389.12㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	162,087.96㎡			
(2) 校 舎	専 用	48,443.29㎡	7,085.46㎡	21,253.33㎡	76,782.08㎡	神戸女子短期大学（収容定員480人、必要面積5,450㎡）と共用 神戸女子短期大学（収容定員360人、必要面積4,900㎡）と共用 （6） 神戸女子短期大学（収容定員240人、必要面積4,500㎡）と共用 （7）		
	(48,443.29㎡)	(7,085.46㎡)	(21,253.33㎡)	(76,782.08㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	169室	教員研究室	12室			
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
	心理学部 心理学科	300,518〔57,375〕 295,033〔57,281〕 293,340〔57,178〕 289,660〔57,060〕 285,768〔57,072〕 (300,518〔57,375〕) (295,033〔57,281〕) (293,340〔57,178〕) (289,660〔57,060〕) (285,768〔57,072〕)	4,349〔114〕 (4,349〔114〕)	9,084〔6,496〕 9,028〔6,446〕 12,179〔9,422〕 5,205〔2,655〕 (9,084〔6,496〕) (9,028〔6,446〕) (12,179〔9,422〕) (5,205〔2,655〕)	6,025〔6,024〕 5,976〔5,975〕 8,957〔8,956〕 4,683〔4,682〕 2,135〔2,132〕 (6,025〔6,024〕) (5,976〔5,975〕) (8,957〔8,956〕) (4,683〔4,682〕) (2,135〔2,132〕)	7,762 (7,762)	19 (19)	
	計	300,518〔57,375〕 295,033〔57,281〕 293,340〔57,178〕 289,660〔57,060〕 285,768〔57,072〕 (300,518〔57,375〕) (295,033〔57,281〕) (293,340〔57,178〕) (289,660〔57,060〕) (285,768〔57,072〕)	4,349〔114〕 (4,349〔114〕)	9,084〔6,496〕 9,028〔6,446〕 12,179〔9,422〕 5,205〔2,655〕 (9,084〔6,496〕) (9,028〔6,446〕) (12,179〔9,422〕) (5,205〔2,655〕)	6,025〔6,024〕 5,976〔5,975〕 8,957〔8,956〕 4,683〔4,682〕 2,135〔2,132〕 (6,025〔6,024〕) (5,976〔5,975〕) (8,957〔8,956〕) (4,683〔4,682〕) (2,135〔2,132〕)	7,762 (7,762)	19 (19)	
	図 書 ・ 設 備	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設 772.26㎡		講堂 0㎡	厚生補導施設 3,031.34㎡		大学全体	
(6) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等		350千円	350千円	図書購入費	2,500千円	1,500千円	1,500千円
	共 同 研 究 費 等		2,283千円	2,740千円	設備購入費	45,000千円	7,000千円	7,000千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,370千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び
「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA・C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考		
神戸女子大学	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				
文学部	4	240	-	960	-	0.44	-	-	昭和44	-			
日本語日文学科	4	60	-	240	学士 (日本語日本 文学)	0.61	-	-	平成18	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2番1号			
英語英米文学科	4	60	-	240	学士 (英語英米文 学)	0.35	-	-	平成18	同上			
国際教養学科	4	60	-	240	学士 (国際教養 学)	0.29	-	令和3	平成18	同上	令和3年度から入学定員変更(40→ 60)		
史学科	4	60	-	240	学士 (歴史学)	0.50	-	-	昭和44	同上			
教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	昭和44	同上	令和7年4月入学生より学生募集停止		
教育学部	4	130	-	130	-	0.59	-	-	令和7	-			
教育学科	4	130	-	130	学士 (教育学)	0.59	-	-	令和7	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2番1号			
健康福祉学部	4	160	-	640	-	0.70	-	-	平成18	-			
社会福祉学科	4	80	-	320	学士 (社会福祉 学)	0.58	-	-	平成18	兵庫県神戸市中央区 港島中町4丁目7番2号			
健康スポーツ栄養学科	4	80	-	320	学士 (栄養学)	0.81	-	-	平成21	同上			
家政学部	4	230	3年次 10	940	-	0.70	-	-	昭和41	-			
家政学科	4	80	-	320	学士 (家政学)	0.57	-	-	昭和41	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2番1号			
管理栄養士養成課程	4	150	3年次 10	620	学士 (栄養学)	0.77	-	-	昭和43	同上			
看護学部	4	90	-	360	-	1.09	-	-	平成27	-			
看護学科	4	90	-	360	学士 (看護学)	1.09	-	-	平成27	兵庫県神戸市中央区 港島中町4丁目7番2号			
心理学部	4	80	-	320	-	1.04	-	-	令和4	-			
心理学科	4	80	-	320	学士 (心理学)	1.04	-	-	令和4	兵庫県神戸市中央区 港島中町4丁目7番2号			
大学全体	4	930	3年次 10	3,350	-	-	-	-	-	-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとは、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻にすることはありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

＜心理学部 心理学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別		氏 名	専任・兼任・兼任の別		氏 名	専任・兼任・兼任の別		氏 名	専任・兼任・兼任の別		氏 名	専任・兼任・兼任の別		氏 名
職名		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	小原 依子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育心理学）	専	教授	小原 依子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育心理学）	専	教授	小原 依子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育心理学）	専	教授	小原 依子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育心理学）	専	教授	小原 依子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育心理学）
		臨床心理学概論 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ カウンセリング 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			臨床心理学概論 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ カウンセリング 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			臨床心理学概論 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 心理演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ カウンセリング 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			
専	教授	秋山 学 ＜令和4年4月＞ 修士（心理学）	専	教授	秋山 学 ＜令和4年4月＞ 修士（心理学）	専	教授	秋山 学 ＜令和4年4月＞ 修士（心理学）	専	教授	秋山 学 ＜令和4年4月＞ 修士（心理学）	専	教授	秋山 学 ＜令和4年4月＞ 修士（心理学）
		社会・集団心理学（社会・集団・社会心理学） 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理調査概論 消費者心理学 広告心理学			社会・集団心理学（社会・集団・社会心理学） 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理調査概論 消費者心理学 広告心理学			社会・集団心理学（社会・集団・社会心理学） 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理調査概論 消費者心理学 広告心理学 教養演習Ⅰ※ 心理学実験演習Ⅱ 心理学Ⅰ※			心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理調査概論 消費者心理学 広告心理学 教養演習Ⅰ※ 心理学実験演習Ⅱ 地域学習 心理演習			
専	教授	浅木森 和夫 ＜令和5年4月＞ 学術博士	専	教授	浅木森 和夫 ＜令和5年4月＞ 学術博士	専	教授	浅木森 和夫 ＜令和5年4月＞ 学術博士	専	教授	浅木森 和夫 ＜令和5年4月＞ 学術博士	専	教授	浅木森 和夫 ＜令和5年4月＞ 学術博士
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プログラミング ITビジネス			情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プログラミング ITビジネス			情報A 情報C 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プログラミング ITビジネス 教養演習Ⅱ			情報A 情報C 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プログラミング ITビジネス 教養演習Ⅱ			情報A 情報C プログラミング ITビジネス 教養演習Ⅱ
兼任	教授	浅木森 和夫 ＜令和4年4月＞ 学術博士	兼任	教授	浅木森 和夫 ＜令和4年4月＞ 学術博士									
		情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習			情報Ⅰ 情報Ⅱ 心理学基礎演習									
専	教授	池尻 義隆 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	専	教授	池尻 義隆 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	専	教授	池尻 義隆 ＜令和6年9月＞ 博士（医学）	専	教授	池尻 義隆 ＜令和6年9月＞ 博士（医学）	専	教授	池尻 義隆 ＜令和6年9月＞ 博士（医学）
		心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学（精神疾患とその治療） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学（精神疾患とその治療） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学（精神疾患とその治療） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ			心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学（精神疾患とその治療） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 心理学Ⅰ※ 公衆心理師の職業※ 人体の構造と機能、疾患（人体の構造と機能及び疾病）			心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心の脳科学 精神医学（精神疾患とその治療） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 心理学Ⅰ※ 公衆心理師の職業※ 人体の構造と機能、疾患（人体の構造と機能及び疾病） 心とからだの健康※
兼任	講師	池尻 義隆 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	池尻 義隆 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	池尻 義隆 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）						
		心理学基礎演習 心の脳科学			心理学基礎演習 心の脳科学			人体の構造と機能、疾患（人体の構造と機能及び疾病）						
専	教授	小沢 康英 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	小沢 康英 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	小沢 康英 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	小沢 康英 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	小沢 康英 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		地域学習 現代社会Ⅱ 産業・組織心理学 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論			地域学習 現代社会Ⅱ 産業・組織心理学 心理学基礎演習 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論			地域学習 現代社会Ⅱ 産業・組織心理学 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論 教養演習Ⅰ※			心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論 教養演習Ⅰ※			心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行動経済学概論 経営組織論 経営学概論 広食心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		曾山（鶴井） いづみ <令和4年4月> 博士（教育学）
		心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
兼任 教授		稲垣 善茂 <令和4年4月> 博士（薬学）
		自然と環境Ⅰ
兼任 教授		植戸 貴子 <令和4年4月> 博士（人間福祉）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		奥野 直 <令和4年4月> 博士（医学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		木村 大輔 <令和4年4月> 博士（保健学）
		衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		佐藤 誓子 <令和4年4月> 博士（食物栄養学）
		衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		鈴木 一永 <令和4年4月> 博士（医学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		津田 理恵子 <令和4年4月> 博士（臨床福祉学）
		教養総合Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		曾山（鶴井） いづみ <令和4年4月> 博士（教育学）
		心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ
専 助教		吉川 祐介 <令和4年4月> 修士（商学）
		地域学習 心理学基礎演習 教養演習Ⅰ※ 教養演習Ⅱ
兼任 教授		泉 妙子 <令和4年4月> 博士（社会福祉学）
		女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※
兼任 教授		稲垣 善茂 <令和4年4月> 博士（薬学）
		自然と環境Ⅰ
兼任 教授		植戸 貴子 <令和4年4月> 博士（人間福祉）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		奥野 直 <令和4年4月> 博士（医学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		木村 大輔 <令和4年4月> 博士（保健学）
		心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		斎藤 あつ子 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		佐々木 勝一 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		佐藤 誓子 <令和4年4月> 博士（食物栄養学）
		衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		津田 理恵子 <令和4年4月> 博士（臨床福祉学）
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		曾山（鶴井） いづみ <令和4年4月> 博士（教育学）
		心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 心理学Ⅰ※
専 助教		吉川 祐介 <令和4年4月> 修士（商学）
		地域学習 心理学基礎演習 教養演習Ⅰ※ 教養演習Ⅱ
兼任 教授		泉 妙子 <令和4年4月> 博士（社会福祉学）
		女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※
兼任 教授		稲垣 善茂 <令和4年4月> 博士（薬学）
		自然と環境Ⅰ
兼任 教授		植戸 貴子 <令和4年4月> 博士（人間福祉）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		奥野 直 <令和4年4月> 博士（医学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		木村 大輔 <令和4年4月> 博士（保健学）
		心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		斎藤 あつ子 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		佐々木 勝一 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		佐藤 誓子 <令和4年4月> 博士（食物栄養学）
		衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		津田 理恵子 <令和4年4月> 博士（臨床福祉学）
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		曾山（鶴井） いづみ <令和4年4月> 博士（教育学）
		心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 心理学Ⅰ※ 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 心理演習 公認心理師の職業※
専 助教		吉川 祐介 <令和4年4月> 修士（商学）
		地域学習 心理学基礎演習 教養演習Ⅰ※ 教養演習Ⅱ 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ マーケティング
兼任 教授		泉 妙子 <令和4年4月> 博士（社会福祉学）
		女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※
兼任 教授		稲垣 善茂 <令和4年4月> 博士（薬学）
		自然と環境Ⅰ
兼任 教授		植戸 貴子 <令和4年4月> 博士（人間福祉）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		奥野 直 <令和4年4月> 博士（医学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		木村 大輔 <令和4年4月> 博士（保健学）
		心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		斎藤 あつ子 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		佐々木 勝一 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		佐藤 誓子 <令和4年4月> 博士（食物栄養学）
		衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		津田 理恵子 <令和4年4月> 博士（臨床福祉学）
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		曾山（鶴井） いづみ <令和4年4月> 博士（教育学）
		心理学研究法 心理学実験演習Ⅰ 上級心理学実験演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族心理学（社会・集団・家族心理学） 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 心理演習 公認心理師の職業※
専 助教		吉川 祐介 <令和4年4月> 修士（商学）
		地域学習 心理学基礎演習 教養演習Ⅰ※ 教養演習Ⅱ 心理学研究総合演習Ⅰ 心理学研究総合演習Ⅱ 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ マーケティング ブランドと人間行動 卒業研究Ⅱ
兼任 教授		稲垣 善茂 <令和4年4月> 博士（薬学）
		自然と環境Ⅰ
兼任 教授		植戸 貴子 <令和4年4月> 博士（人間福祉）
		現代社会Ⅴ※
兼任 教授		奥野 直 <令和4年4月> 博士（医学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		木村 大輔 <令和4年4月> 博士（保健学）
		心とからだの健康※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		斎藤 あつ子 <令和4年4月> 博士（臨床教育学）
		女性Ⅲ※
兼任 教授		佐藤 誓子 <令和4年4月> 博士（食物栄養学）
		衣・食・住Ⅱ※
兼任 教授		津田 理恵子 <令和4年4月> 博士（臨床福祉学）
		現代社会Ⅴ※ 教養総合Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授		下司 実奈 <令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		心理学Ⅰ 手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		小島（丹下）理永 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ（テニス） スポーツ実技Ⅴ（学外）
兼任 准教授		重福 京子 <令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ-1（球技） スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅴ（学外） 心とからだの健康※
兼任 准教授		曾田 里美 <令和4年4月＞ 博士（人間福祉）
		現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		田中 希世子 <令和4年4月＞ 修士（社会学）※
		現代社会Ⅴ※
兼任 准教授		松本 衣代 <令和4年4月＞ 博士（食物栄養学）
		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 准教授		村田 恵子 <令和4年4月＞ 博士（理学）
		自然と環境Ⅱ
兼任 講師		住本 純 <令和4年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツ実技Ⅴ（学外）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授		下司 実奈 <令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		心理学Ⅰ 手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		小島（丹下）理永 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ（テニス） スポーツ実技Ⅴ（学外）
兼任 准教授		坂元 美子 <令和4年4月＞ 心身健康科学（修士）
		心とからだの健康※
兼任 准教授		重福 京子 <令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ-1（球技） スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅴ（学外） 心とからだの健康※
兼任 准教授		曾田 里美 <令和4年4月＞ 博士（人間福祉）
		心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		田中 希世子 <令和4年4月＞ 修士（社会学）※
		現代社会Ⅴ※
兼任 准教授		松本 衣代 <令和4年4月＞ 博士（食物栄養学）
		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 准教授		村田 恵子 <令和4年4月＞ 博士（理学）
		自然と環境Ⅱ
兼任 講師		住本 純 <令和4年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツ実技Ⅴ（学外）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授		下司 実奈 <令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		小島（丹下）理永 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ（テニス） スポーツ実技Ⅴ（学外） スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 准教授		坂元 美子 <令和4年4月＞ 心身健康科学（修士）
		心とからだの健康※
兼任 准教授		重福 京子 <令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ-1（球技） スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅴ（学外） 心とからだの健康※ スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 准教授		曾田 里美 <令和4年4月＞ 博士（人間福祉）
		心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		田中 希世子 <令和4年4月＞ 修士（社会学）※
		現代社会Ⅴ※
兼任 准教授		松本 衣代 <令和4年4月＞ 博士（食物栄養学）
		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 准教授		村田 恵子 <令和4年4月＞ 博士（理学）
		自然と環境Ⅱ
兼任 准教授		小路 浩子 <令和5年4月＞ 博士（看護学）
		女性Ⅲ※
兼任 准教授		名定 慎也 <令和5年4月＞ ※6377・7437/11修士（専門職）
		現代社会Ⅴ※
兼任 講師		住本 純 <令和4年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツ実技Ⅴ（学外）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授		下司 実奈 <令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		小島（丹下）理永 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ（テニス） スポーツ実技Ⅴ（学外） スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 准教授		坂元 美子 <令和4年4月＞ 心身健康科学（修士）
		心とからだの健康※
兼任 准教授		曾田 里美 <令和4年4月＞ 博士（人間福祉）
		心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		田中 希世子 <令和4年4月＞ 修士（社会学）※
		現代社会Ⅴ※
兼任 准教授		松本 衣代 <令和4年4月＞ 博士（食物栄養学）
		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 准教授		村田 恵子 <令和4年4月＞ 博士（理学）
		自然と環境Ⅱ
兼任 准教授		小路 浩子 <令和5年4月＞ 博士（看護学）
		女性Ⅲ※
兼任 准教授		名定 慎也 <令和5年4月＞ ※6377・7437/11修士（専門職）
		現代社会Ⅴ※
兼任 講師		住本 純 <令和4年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツ実技Ⅴ（学外）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授		下司 実奈 <令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		手話Ⅰ 手話Ⅱ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ 心とからだの健康※
兼任 准教授		小島（丹下）理永 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		女性Ⅲ※ スポーツ実技Ⅳ（テニス） スポーツ実技Ⅴ（学外） スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 准教授		坂元 美子 <令和4年4月＞ 心身健康科学（修士）
		心とからだの健康※
兼任 准教授		曾田 里美 <令和4年4月＞ 博士（人間福祉）
		心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
兼任 准教授		松本 衣代 <令和4年4月＞ 博士（食物栄養学）
		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ 衣・食・住Ⅱ※
兼任 准教授		村田 恵子 <令和4年4月＞ 博士（理学）
		自然と環境Ⅱ
兼任 准教授		小路 浩子 <令和5年4月＞ 博士（看護学）
		女性Ⅲ※
兼任 准教授		名定 慎也 <令和5年4月＞ ※6377・7437/11修士（専門職）
		現代社会Ⅴ※
兼任 准教授		川端 麗子 <令和6年4月＞ 博士（学術）
		現代社会Ⅴ※
兼任 准教授		大沼 勇人 <令和6年4月＞ 博士（体育学）
		スポーツ実技Ⅰ-1（球技） スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅲ（卓球） スポーツ実技Ⅳ（テニス） スポーツ実技Ⅴ（学外） 心とからだの健康※
兼任 講師		住本 純 <令和4年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツ実技Ⅴ（学外）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		エドワード・サグ <令和5年4月> B.A. (米國)
	英語Ⅱ-1	
兼任 講師		西原 幹子 <令和4年4月> 修士 (看護学)
	心とからだの健康※	
兼任 講師		松浦 紀美恵 <令和4年4月> 家政学士※
	神戸学※ 心とからだの健康※	
兼任 講師		阿部 まゆみ <令和4年4月> 経済学士
	基礎Ⅰ 基礎Ⅱ	
兼任 講師		李 春子 <令和4年4月> 博士 (人間・環境学)
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2	
兼任 講師		池田Yiyi 乙3シ <令和4年4月> Magistra Artium (独國)
	ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2	
兼任 講師		K.ボーネルト <令和4年4月> Magistra Artium (独國)
	ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2	
兼任 講師		井上 優大 <令和4年4月> 修士 (人間・環境学)
	教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2	
兼任 講師		佐藤 晶子 <令和4年4月> 修士 (言語文化学)※
	教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2	
兼任 講師		上山 益己 <令和4年4月> 博士 (文学)
	歴史Ⅲ	
兼任 講師		梅垣 佑介 <令和5年4月> 博士 (教育学)
	感情・人格心理学	
兼任 講師		梅田 亨 <令和4年4月> 理学博士
	数学Ⅰ 数学Ⅱ	
兼任 講師		江見 圭司 <令和5年4月> 博士 (人間・環境学)
	多変量解析	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		エドワード・サグ <令和5年4月> B.A. (米國)
	英語Ⅱ-1	
兼任 講師		西原 幹子 <令和4年4月> 修士 (看護学)
	心とからだの健康※	
兼任 講師		松浦 紀美恵 <令和4年4月> 家政学士※
	神戸学※	
兼任 講師		阿部 まゆみ <令和4年4月> 経済学士
	基礎Ⅰ 基礎Ⅱ	
兼任 講師		李 春子 <令和4年4月> 博士 (人間・環境学)
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2	
兼任 講師		K.ボーネルト <令和4年4月> Magistra Artium (独國)
	ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2	
兼任 講師		井上 優大 <令和4年4月> 修士 (人間・環境学)
	教養英語Ⅰ-1	
兼任 講師		佐藤 晶子 <令和4年4月> 修士 (言語文化学)※
	教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2	
兼任 講師		上山 益己 <令和4年4月> 博士 (文学)
	歴史Ⅲ	
兼任 講師		梅垣 佑介 <令和5年4月> 博士 (教育学)
	感情・人格心理学	
兼任 講師		梅田 亨 <令和4年4月> 理学博士
	数学Ⅰ 数学Ⅱ	
兼任 講師		江見 圭司 <令和5年4月> 博士 (人間・環境学)
	多変量解析	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西原 幹子 <令和4年4月> 修士 (看護学)
	心とからだの健康※	
兼任 講師		松浦 紀美恵 <令和4年4月> 家政学士※
	神戸学※	
兼任 講師		大瀧 裕美 <令和5年4月> 博士 (社会科学)
	女性Ⅰ 女性Ⅳ	
兼任 講師		阿部 まゆみ <令和4年4月> 経済学士
	基礎Ⅰ 基礎Ⅱ	
兼任 講師		李 春子 <令和4年4月> 博士 (人間・環境学)
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2	
兼任 講師		井上 優大 <令和4年4月> 修士 (人間・環境学)
	教養英語Ⅰ-1	
兼任 講師		上山 益己 <令和4年4月> 博士 (文学)
	歴史Ⅲ	
兼任 講師		梅垣 佑介 <令和5年4月> 博士 (教育学)
	感情・人格心理学	
兼任 講師		梅田 亨 <令和4年4月> 理学博士
	数学Ⅰ 数学Ⅱ	
兼任 講師		江見 圭司 <令和5年4月> 博士 (人間・環境学)
	多変量解析	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西原 幹子 <令和4年4月> 修士 (看護学)
	心とからだの健康※	
兼任 講師		大瀧 裕美 <令和5年4月> 博士 (社会科学)
	女性Ⅰ 女性Ⅳ	
兼任 講師		阿部 まゆみ <令和4年4月> 経済学士
	基礎Ⅰ 基礎Ⅱ	
兼任 講師		李 春子 <令和4年4月> 博士 (人間・環境学)
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2	
兼任 講師		上山 益己 <令和4年4月> 博士 (文学)
	歴史Ⅲ	
兼任 講師		梅垣 佑介 <令和5年4月> 博士 (教育学)
	感情・人格心理学	
兼任 講師		梅田 亨 <令和4年4月> 理学博士
	数学Ⅰ 数学Ⅱ	
兼任 講師		江見 圭司 <令和5年4月> 博士 (人間・環境学)
	多変量解析	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西原 幹子 <令和4年4月> 修士 (看護学)
	心とからだの健康※	
兼任 講師		大瀧 裕美 <令和5年4月> 博士 (社会科学)
	女性Ⅰ 女性Ⅳ	
兼任 講師		阿部 まゆみ <令和4年4月> 経済学士
	基礎Ⅰ 基礎Ⅱ	
兼任 講師		李 春子 <令和4年4月> 博士 (人間・環境学)
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2	
兼任 講師		上山 益己 <令和4年4月> 博士 (文学)
	歴史Ⅲ	
兼任 講師		梅垣 佑介 <令和5年4月> 博士 (教育学)
	感情・人格心理学	
兼任 講師		梅田 亨 <令和4年4月> 理学博士
	数学Ⅰ 数学Ⅱ	
兼任 講師		江見 圭司 <令和5年4月> 博士 (人間・環境学)
	多変量解析	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		大山 範子 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任 講師		小笠原 将之 <令和5年4月＞ 医学士
		人体の構造と機能・疾患（人体の 構造と機能及び疾病）
兼任 講師		岡久 太郎 <令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）
		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2
兼任 講師		小川 洋子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		女性Ⅱ
兼任 講師		金田 直子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		外国語コミュニケーションⅠ 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1
兼任 講師		北川 勝利 <令和7年4月＞ 経済学士
		メディアとデザインの心理学※
兼任 講師		栗山 はるな <令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）※
		哲学 宗教
兼任 講師		小山 秀之 <令和5年4月＞ 修士（教育学）
		公認心理師の職業 関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任 講師		斎藤 元幸 <令和6年4月＞ 博士（心理学）
		認知システム論
兼任 講師		佐々木 宏 <令和4年4月＞ 文学士
		教養総合Ⅱ
兼任 講師		笹原 秀夫 <令和6年4月＞ 芸術学士
		メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理学※
兼任 講師		佐原 陽子 <令和4年4月＞ 修士（文学）※
		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語会話Ⅰ 中国語講義Ⅰ
兼任 講師		鏡 朋子 <令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）※
		発達心理学B（乳幼児期・児童 期）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		大山 範子 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任 講師		小笠原 将之 <令和5年4月＞ 医学士
		人体の構造と機能・疾患（人体の 構造と機能及び疾病）
兼任 講師		伊藤 幸治 <令和4年4月＞ Ph.D(History)
		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2
兼任 講師		小川 洋子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		女性Ⅱ
兼任 講師		金田 直子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		外国語コミュニケーションⅠ 教養英語Ⅱ-1
兼任 講師		北川 勝利 <令和7年4月＞ 経済学士
		メディアとデザインの心理 学※
兼任 講師		栗山 はるな <令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）※
		哲学 宗教
兼任 講師		小山 秀之 <令和5年4月＞ 修士（教育学）
		公認心理師の職業 関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任 講師		斎藤 元幸 <令和6年4月＞ 博士（心理学）
		認知システム論
兼任 講師		佐々木 宏 <令和4年4月＞ 文学士
		教養総合Ⅱ
兼任 講師		笹原 秀夫 <令和6年4月＞ 芸術学士
		メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理 学※
兼任 講師		佐原 陽子 <令和4年4月＞ 修士（文学）※
		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語会話Ⅰ 中国語講義Ⅰ
兼任 講師		鏡 朋子 <令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）※
		発達心理学B（乳幼児期・児 童期）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		大山 範子 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任 講師		伊藤 幸治 <令和4年4月＞ Ph.D(History)
		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ
兼任 講師		小川 洋子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		女性Ⅱ
兼任 講師		北川 勝利 <令和7年4月＞ 経済学士
		メディアとデザインの心理学※
兼任 講師		栗山 はるな <令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）※
		哲学 宗教
兼任 講師		小山 秀之 <令和5年4月＞ 修士（教育学）
		公認心理師の職業 関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任 講師		斎藤 元幸 <令和6年4月＞ 博士（心理学）
		認知システム論
兼任 講師		佐々木 宏 <令和4年4月＞ 文学士
		教養総合Ⅱ
兼任 講師		笹原 秀夫 <令和6年4月＞ 芸術学士
		メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理学※
兼任 講師		鏡 朋子 <令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）※
		発達心理学B（乳幼児期・児童 期）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		大山 範子 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任 講師		小川 洋子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		女性Ⅱ
兼任 講師		北川 勝利 <令和6年4月＞ 経済学士
		メディアとデザインの心理学 ※ メディアと人間行動※
兼任 講師		栗山 はるな <令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）※
		哲学 宗教
兼任 講師		小山 秀之 <令和5年4月＞ 修士（教育学）
		関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任 講師		斎藤 元幸 <令和6年4月＞ 博士（心理学）
		認知システム論
兼任 講師		佐々木 宏 <令和4年4月＞ 文学士
		教養総合Ⅱ
兼任 講師		笹原 秀夫 <令和6年4月＞ 芸術学士
		メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理学 ※
兼任 講師		鏡 朋子 <令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）※
		発達心理学B（乳幼児期・児童 期）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		大山 範子 <令和4年4月＞ 博士（学術）
		言葉と文学Ⅰ 教養総合Ⅱ
兼任 講師		小川 洋子 <令和4年4月＞ 修士（学術）
		女性Ⅱ
兼任 講師		北川 勝利 <令和6年4月＞ 経済学士
		メディアとデザインの心理学 ※ メディアと人間行動※
兼任 講師		小山 秀之 <令和5年4月＞ 修士（教育学）
		関係行政論 司法・犯罪心理学 福祉心理学
兼任 講師		斎藤 元幸 <令和6年4月＞ 博士（心理学）
		認知システム論
兼任 講師		笹原 秀夫 <令和6年4月＞ 芸術学士
		メディアと人間行動※ メディアとデザインの心理学 ※
兼任 講師		鏡 朋子 <令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）※
		発達心理学B（乳幼児期・児童 期）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		七野 敏光 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
	現代社会Ⅰ	
兼任 講師		柴田 秀樹 ＜令和4年4月＞ 文学（修士）※
	フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語会話Ⅰ フランス語講義Ⅰ	
兼任 講師		杉田 米行 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (History) (米国)
	英語Ⅱ-1	
兼任 講師		千田 直毅 ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
	ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス	
兼任 講師		異 尚之 ＜令和6年4月＞ 法学士
	メディアと人間行動※	
兼任 講師		谷田 勇樹 ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
	心理学実験演習Ⅱ	
兼任 講師		田和 真希 ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
	基礎Ⅲ	
兼任 講師		鄭 東憲 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語講義Ⅰ	
兼任 講師		辻 幸恵 ＜令和6年4月＞ 博士（家政学）
	ブランドと人間行動 マーケティング	
兼任 講師		筒井 亮太 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士（専門職）
	心理的アセスメント	
兼任 講師		豊福 一 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
	日本国憲法 現代社会Ⅳ	
兼任 講師		永松 圭子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
	歴史Ⅰ	
兼任 講師		虹林 桃子 ＜令和5年4月＞ 修士（人間・環境学）
	英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		七野 敏光 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
	現代社会Ⅰ	
兼任 講師		廣岡 江梨子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
	フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語会話Ⅰ フランス語講義Ⅰ	
兼任 講師		杉田 米行 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (History) (米国)
	英語Ⅱ-1	
兼任 講師		千田 直毅 ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
	ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス	
兼任 講師		異 尚之 ＜令和6年4月＞ 法学士
	メディアと人間行動※	
兼任 講師		谷田 勇樹 ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
	心理学実験演習Ⅱ	
兼任 講師		田和 真希 ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
	基礎Ⅲ	
兼任 講師		鄭 東憲 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語講義Ⅰ	
兼任 講師		辻 幸恵 ＜令和6年4月＞ 博士（家政学）
	ブランドと人間行動 マーケティング	
兼任 講師		筒井 亮太 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士（専門職）
	心理的アセスメント	
兼任 講師		豊福 一 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
	日本国憲法 現代社会Ⅳ	
兼任 講師		永松 圭子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
	歴史Ⅰ	
兼任 講師		虹林 桃子 ＜令和5年4月＞ 修士（人間・環境学）
	英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		七野 敏光 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
	現代社会Ⅰ	
兼任 講師		廣岡 江梨子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
	フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語会話Ⅰ フランス語講義Ⅰ	
兼任 講師		千田 直毅 ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
	ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス	
兼任 講師		異 尚之 ＜令和6年4月＞ 法学士
	メディアと人間行動※	
兼任 講師		田和 真希 ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
	基礎Ⅲ	
兼任 講師		鄭 東憲 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語講義Ⅰ	
兼任 講師		辻 幸恵 ＜令和6年4月＞ 博士（家政学）
	ブランドと人間行動 マーケティング	
兼任 講師		筒井 亮太 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士（専門職）
	心理的アセスメント	
兼任 講師		豊福 一 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
	日本国憲法 現代社会Ⅳ	
兼任 講師		虹林 桃子 ＜令和6年4月＞ 修士（人間・環境学）
	英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 音楽と文学Ⅲ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		七野 敏光 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
	現代社会Ⅰ	
兼任 講師		廣岡 江梨子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
	フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2	
兼任 講師		千田 直毅 ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
	ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス	
兼任 講師		田和 真希 ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
	基礎Ⅲ	
兼任 講師		鄭 東憲 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
	朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語講義Ⅰ	
兼任 講師		辻 幸恵 ＜令和7年4月＞ 博士（家政学）
	ブランドと人間行動	
兼任 講師		筒井 亮太 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士（専門職）
	心理的アセスメント	
兼任 講師		豊福 一 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
	日本国憲法 現代社会Ⅳ	
兼任 講師		虹林 桃子 ＜令和6年4月＞ 修士（人間・環境学）
	英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 音楽と文学Ⅲ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		廣岡 江梨子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
	フランス語Ⅰ-1	
兼任 講師		千田 直毅 ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
	ビジネスコミュニケーション 女性とビジネス	
兼任 講師		田和 真希 ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
	基礎Ⅲ	
兼任 講師		鄭 東憲 ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
	朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語講義Ⅰ	
兼任 講師		筒井 亮太 ＜令和6年4月＞ 臨床心理修士（専門職）
	心理的アセスメント	
兼任 講師		豊福 一 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
	日本国憲法 現代社会Ⅳ	
兼任 講師		虹林 桃子 ＜令和6年4月＞ 修士（人間・環境学）
	音楽と文学Ⅲ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西山 清子 <令和5年4月＞修士（学術）
		スポーツと健康の科学
兼任 講師		野之上 操 <令和4年4月＞体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅲ（卓球） スポーツ実技Ⅴ（学外）
兼任 講師		服部 智行 <令和4年4月＞博士（芸術学）
		芸術Ⅱ
兼任 講師		林 孝三 <令和4年4月＞経済学士
		芸術Ⅰ
兼任 講師		Vanden Ronald Edomund <令和4年4月＞Master of Science（カナダ）
		英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ 教養英語Ⅰ-Ⅰ
兼任 講師		平野 智子 <令和6年4月＞博士（心理学）
		産業カウンセリング
兼任 講師		深井 美智子 <令和5年4月＞修士（文学）※
		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ
兼任 講師		藤井 彩 <令和6年4月＞臨床心理修士（専門職）
		健康・医療心理学
兼任 講師		正木 慶大 <令和4年4月＞博士（医学）
		神経・生理心理学
兼任 講師		水川 布美子 <令和4年4月＞博士（英文学）
		教養総合Ⅰ
兼任 講師		道谷 卓 <令和4年4月＞法学修士※
		神戸学※
兼任 講師		南 コニー <令和4年4月＞博士（文学）
		女性Ⅰ 女性Ⅳ 現代社会Ⅲ
兼任 講師		毛 新華 <令和7年4月＞博士（人間科学）
		交渉の心理学
兼任 講師		毛利 英介 <令和4年4月＞博士（文学）
		歴史Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西山 清子 <令和5年4月＞修士（学術）
		スポーツと健康の科学
兼任 講師		野之上 操 <令和4年4月＞体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 講師		服部 智行 <令和4年4月＞博士（芸術学）
		芸術Ⅱ
兼任 講師		松本 尚 <令和4年4月＞修士（美術）
		芸術Ⅰ
兼任 講師		平野 智子 <令和6年4月＞博士（心理学）
		産業カウンセリング
兼任 講師		深井 美智子 <令和5年4月＞修士（文学）※
		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ
兼任 講師		藤井 彩 <令和6年4月＞臨床心理修士（専門職）
		健康・医療心理学
兼任 講師		正木 慶大 <令和4年4月＞博士（医学）
		神経・生理心理学
兼任 講師		水川 布美子 <令和4年4月＞博士（英文学）
		教養総合Ⅰ
兼任 講師		道谷 卓 <令和4年4月＞法学修士※
		神戸学※
兼任 講師		南 コニー <令和4年4月＞博士（文学）
		女性Ⅰ 女性Ⅳ 現代社会Ⅲ
兼任 講師		毛 新華 <令和7年4月＞博士（人間科学）
		交渉の心理学
兼任 講師		毛利 英介 <令和4年4月＞博士（文学）
		歴史Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西山 清子 <令和5年4月＞修士（学術）
		スポーツと健康の科学
兼任 講師		野之上 操 <令和4年4月＞体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅲ（卓球） スポーツ実技Ⅳ（テニス）
兼任 講師		服部 智行 <令和4年4月＞博士（芸術学）
		芸術Ⅱ
兼任 講師		松本 尚 <令和4年4月＞修士（美術）
		芸術Ⅰ
兼任 講師		平野 智子 <令和6年4月＞博士（心理学）
		産業カウンセリング
兼任 講師		藤井 彩 <令和6年4月＞臨床心理修士（専門職）
		健康・医療心理学
兼任 講師		正木 慶大 <令和4年4月＞博士（医学）
		神経・生理心理学
兼任 講師		水川 布美子 <令和4年4月＞博士（英文学）
		教養総合Ⅰ
兼任 講師		道谷 卓 <令和4年4月＞法学修士※
		神戸学※
兼任 講師		毛 新華 <令和7年4月＞博士（人間科学）
		交渉の心理学
兼任 講師		毛利 英介 <令和4年4月＞博士（文学）
		歴史Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西山 清子 <令和5年4月＞修士（学術）
		スポーツと健康の科学
兼任 講師		野之上 操 <令和4年4月＞体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 講師		服部 智行 <令和4年4月＞博士（芸術学）
		芸術Ⅱ
兼任 講師		松本 尚 <令和4年4月＞修士（美術）
		芸術Ⅰ
兼任 講師		正木 慶大 <令和4年4月＞博士（医学）
		神経・生理心理学
兼任 講師		水川 布美子 <令和4年4月＞博士（英文学）
		教養総合Ⅰ
兼任 講師		道谷 卓 <令和4年4月＞法学修士※
		神戸学※
兼任 講師		毛 新華 <令和7年4月＞博士（人間科学）
		交渉の心理学
兼任 講師		毛利 英介 <令和4年4月＞博士（文学）
		歴史Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		西山 清子 <令和5年4月＞修士（学術）
		スポーツと健康の科学
兼任 講師		野之上 操 <令和4年4月＞体育学士
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅰ（バドミントン） スポーツ実技Ⅲ（卓球）
兼任 講師		服部 智行 <令和4年4月＞博士（芸術学）
		芸術Ⅱ
兼任 講師		松本 尚 <令和4年4月＞修士（美術）
		芸術Ⅰ
兼任 講師		正木 慶大 <令和4年4月＞博士（医学）
		神経・生理心理学
兼任 講師		水川 布美子 <令和4年4月＞博士（英文学）
		教養総合Ⅰ

[illegible]

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- なお申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- その上で届出時には届出時に設置認可時又は届出時の教員として（最終教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外教員（助手・助教））（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）を含む。）を黒字で記入してください。
- 【なお、各年度については、認可時又は届出時における変更となる**最終教員は赤字**と記入してください。】
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目」に下線が引いてあります。（大学院、高等専門学校は除く）
- ・教員がサ（リカ）等でない期間がある場合、その期間（年月日）を段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の欄は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新制大学等を行って実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後の科目名（新制大学等）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前の科目名（旧制大学等）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・吉川祐介助教を教育内容の充実を図るため、新規採用。「地域学習」及び「心理学基礎演習」担当。
- ・泉妙子教授を「女性Ⅲ」「心とからだの健康」「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・木村大輔教授に「心とからだの健康」を追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・齋藤あつ子教授を「女性Ⅲ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・佐々木勝一教授を「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・鈴木一永教授の退職により削除。
- ・津田理恵子教授を「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・坂元美子准教授を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・重福京子准教授を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・曾田里美准教授を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・田中希世子准教授を「現代社会Ⅴ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・西原詩子講師を「心とからだの健康」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・松浦紀美恵講師の「心とからだの健康」を削除。(授業内容の見直しを図り、担当者を変更したため)
- ・池田リツィウス・ヤスミン講師退任により、「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」をK.ボーネルト講師に変更。
- ・井上優大講師退任により、「教養英語Ⅰ-1」「教養英語Ⅰ-2」を佐藤晶子講師に変更。
- ・岡久太郎講師退任により、「英語Ⅰ-1」「英語Ⅰ-2」を伊藤孝治講師に変更。
- ・金田直子講師の「教養英語Ⅰ-2」を削除。(時間割編成の調整を行ったため)
- ・柴田秀樹講師退任により、「フランス語Ⅰ-1」「フランス語Ⅰ-2」「フランス語会話Ⅰ」「フランス語講読Ⅰ」を廣岡江梨子講師に変更。
- ・野之上操講師の「スポーツ実技Ⅰ-1(球技)」「スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)」「スポーツ実技Ⅴ(学外)」を削除。(時間割編成の調整を行ったため)
- ・林孝三講師の定年退職により、「芸術Ⅰ」を松本尚講師に変更。
- ・Vanden Ronald Edmond講師退任により、「英語Ⅱ-2」「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」「教養英語Ⅰ-1」を削除。(時間割編成の調整を行ったため)

【令和5年度】

- ・秋山学教授を「教養演習Ⅰ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・谷田勇樹講師退任により、「心理学実験演習Ⅱ」を秋山学教授と尾崎勝彦講師に変更。
- ・浅木森和夫教授の「情報Ⅰ」を「情報A」に、「情報Ⅱ」を「情報C」に変更。(科目名称変更のため)
- ・浅木森和夫教授を「教養演習Ⅱ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・小原依子教授、浅木森和夫教授、池尻義隆講師、小沢康英教授、前田研史教授、佐伯(豊田)恵里奈准教授、西本実苗講師の「心理学基礎演習」を削除。(授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため)
- ・池尻義隆教授の就任予定年月を令和6年4月から令和5年9月に変更。(教育内容の充実を図るための調整の結果、就任を早めることが可能となったため)
- ・小笠原将之講師退任により、「人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)」を池尻義隆講師に変更。
- ・小沢康英教授を「教養演習Ⅰ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・西本実苗講師の「情報Ⅰ」を「情報A」に、「情報Ⅱ」を「情報C」に変更。(科目名称変更のため)
- ・西本実苗講師を「情報B」に追加。(授業内容の充実を図るため)
- ・吉川祐介助教を「教養演習Ⅰ」「教養演習Ⅱ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・松井順子教授退任により、名定慎也准教授を「現代社会Ⅴ」に追加。
- ・小島(丹下)理永准教授を「スポーツ実技Ⅲ(卓球)」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・重福京子准教授を「スポーツ実技Ⅲ(卓球)」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・エドワード・ジャーク講師退任により、「英語Ⅱ-1」を削除。
- ・洪愛子教授、玉木敦子教授、服部律子教授、小路浩子准教授を「女性Ⅲ」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・南コニー講師退任により、「現代社会Ⅲ」を室屋安孝教授に変更。
- ・南コニー講師退任により、「女性Ⅰ」「女性Ⅳ」を大淵裕美講師に変更。
- ・K.ボーネルト講師退任により、「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」を末田圭果講師に変更。
- ・佐藤晶子講師退任により、「教養英語Ⅰ-1」を井上優大講師に変更し、「教養英語Ⅰ-2」を水野尚之教授に変更。
- ・金田直子講師退任により、「外国語コミュニケーションⅠ」を守家輝講師に変更し、「教養英語Ⅰ-1」を阪本渚子講師に変更。
- ・佐原陽子講師退任により、「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅰ-2」「中国語会話Ⅰ」「中国語講読Ⅰ」を孫輝講師に変更。
- ・杉田米行講師退任により、「英語Ⅱ-1」を削除。
- ・永松圭子講師退任により、「歴史Ⅰ」を永野弘明講師に変更。
- ・虹林桃子講師退任により、「英語Ⅱ-1」「英語Ⅱ-2」を削除。
- ・守家輝講師の「教養英語Ⅱ-2」を阪本渚子講師に変更。(時間割編成の調整を行ったため)
- ・深井美智子講師退任により、「英語Ⅱ-1」「英語Ⅱ-2」「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」を阪本渚子講師に変更。
- ・伊藤孝治講師を「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」に追加。(時間割編成の調整を行ったため)
- ・野之上操講師を「スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)」「スポーツ実技Ⅳ(テニス)」に追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・森藤ちひろ講師の辞退により、「サービスデザイン心理学」を三浦玉緒講師に変更し、森藤ちひろ講師の就任予定年月を令和6年4月に変更。
- ・下司実奈准教授の辞退により、「心理学Ⅰ」を秋山学教授、佐伯(豊田)恵里奈准教授、西本実苗講師、曾山(鶴井)いつみ助教に変更。

【令和6年度】

- ・清水弥生准教授が教授に昇進。（令和5年4月）
- ・池尻義隆教授就任のため、池尻義隆講師の「人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)」を池尻義隆教授に変更。
- ・カリキュラム再編のため、廣岡江梨子講師の「フランス語会話Ⅰ」「フランス語購読Ⅰ」を削除。
- ・カリキュラム再編のため、吉富文講師の「イタリア語会話Ⅰ」「イタリア語購読Ⅰ」を削除。
- ・秋山学教授、栗田聡子教授、黒黒慎太郎准教授の「心理学基礎演習」を削除。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・池尻義隆教授、佐伯（豊田）恵里奈准教授、西本実苗講師を「心理学基礎演習」に追加。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・小原依子教授、浅木森和夫教授、前田研史教授の「心理学研究総合演習Ⅰ」を削除。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・黒黒慎太郎准教授、曾山（鶴井）いづみ助教、吉川祐介助教を「心理学研究総合演習Ⅰ」に追加。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・浅木森和夫教授、前田研史教授の「心理学研究総合演習Ⅱ」を削除。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・黒黒慎太郎准教授、曾山（鶴井）いづみ助教、吉川祐介助教を「心理学研究総合演習Ⅱ」に追加。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・小原依子教授、浅木森和夫教授の「専門セミナーⅠ」を削除。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・吉川祐介助教を「専門セミナーⅠ」に追加。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・浅木森和夫教授、前田研史教授の「専門セミナーⅡ」を削除。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・吉川祐介助教を「専門セミナーⅡ」に追加。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授、佐伯（豊田）恵里奈准教授、曾山（鶴井）いづみ助教を「心理演習」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・西本実苗講師を「心理学実験演習Ⅱ」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・小原依子教授の「カウンセリング」を前田研史教授に変更。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授、西本実苗講師の「心理学Ⅰ」を池尻義隆教授、前田研史教授に変更。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授を「地域学習」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・西本実苗講師の「情報A」を削除。（授業時間割編成の調整及び授業内容の見直しにより、担当者を変更したため）
- ・川端麗子准教授を「現代社会Ⅴ」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・大沼勇人准教授を「スポーツ実技Ⅴ（学外）」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・渡邊理恵子講師を「英語Ⅱ-1」「英語Ⅱ-2」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・重福京子教授の定年退職により、「スポーツ実技Ⅰ-1（球技）」「スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）」「スポーツ実技Ⅲ（卓球）」を大沼勇人准教授に変更。
- ・重福京子教授の定年退職により、「基礎トレーニング」を金谷和幸講師に変更。
- ・重福京子教授の定年退職により、「心とからだの健康」を削除。
- ・守家輝講師の「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」をコア・ラウンド・講師に変更。（時間割編成の調整を行ったため）
- ・阪本渚子講師の「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」を杉野久和講師に変更。（時間割編成の調整を行ったため）
- ・水野尚之教授の「教養英語Ⅰ-2」を桂山康司講師に変更。（時間割編成の調整を行ったため）
- ・野之上操講師の「スポーツ実技Ⅳ（テニス）」を大沼勇人准教授に変更。（時間割編成の調整を行ったため）
- ・伊藤孝治講師の退任により、「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」を削除。
- ・井上優大講師退任により、「教養英語Ⅰ-1」を桂山康司講師に変更。
- ・伊藤孝治講師退任により、「英語Ⅰ-1」「英語Ⅰ-2」を虹林桃子講師に変更。
- ・末田圭果講師の退任により、「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」を市川智子講師に変更。
- ・小山秀之講師の辞退により、「公認心理師の職責」を小原依子教授、池尻義隆教授、前田研史教授、黒黒慎太郎准教授、曾山（鶴井）いづみ助教に変更。
- ・西出良郎教授の辞退により、「言葉と文学Ⅲ」を虹林桃子講師に変更。
- ・松浦紀美恵講師の辞退により、「神戸学」を宮本晃郎教授に変更。
- ・巽尚之講師の辞退により、「メディアと人間行動」を北川勝利講師に変更。
- ・辻幸恵講師の辞退により、「マーケティング」を吉川祐介助教に変更し、辻幸恵講師の就任予定年月を令和7年4月に変更。
- ・平野智子講師の辞退により、「産業カウンセリング」を佐藤浩講師に変更。
- ・藤井彩講師の辞退により、「健康・医療心理学」を庵地雄太講師に変更。
- ・森藤ちひろ講師の辞退により、「プロモーションの心理学」を後藤こず恵講師に変更。

【令和7年度】

- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「臨床心理学概論」を前田研史教授に変更。（令和6年9月）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「心理学研究総合演習Ⅱ」を削除。（令和6年9月）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「専門セミナーⅡ」を前田研史教授に変更。（令和6年9月）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「心理演習」を削除。（令和6年9月）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「公認心理師の職責」を削除。（令和6年9月）
- ・住本純講師が准教授に昇進。（令和7年4月）
- ・虹林桃子講師の辞退により、「英語Ⅰ-1」「英語Ⅰ-2」を渡邊理恵子講師に変更。
- ・阪本渚子講師の退任により、「英語Ⅱ-1」「英語Ⅱ-2」を荒木佑真講師に変更。
- ・桂山康司講師の退任により、「教養英語Ⅰ-1」「教養英語Ⅰ-2」を渡邊理恵子講師に変更。
- ・阪本渚子講師の退任により、「教養英語Ⅱ-1」「教養英語Ⅱ-2」を渡邊理恵子講師に変更。
- ・廣岡江梨子講師の辞退により、「フランス語Ⅰ-2」を松田真里講師に変更。
- ・鄭東憲講師の辞退により、「朝鮮語Ⅰ-1」「朝鮮語Ⅰ-2」を李性林講師に変更。
- ・西本実苗講師を「情報A」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・泉妙子教授の定年退職により、「女性Ⅲ」「心とからだの健康」「現代社会Ⅴ」を削除。
- ・洪愛子教授の「女性Ⅲ」を木村あい教授に変更。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・道谷卓講師の退任により、「神戸学」を削除。
- ・秋山学教授の退任により、「地域学習」を削除。
- ・栗山はるな講師の退任により、「哲学」を田中美紀子教授に変更。
- ・栗山はるな講師の退任により、「宗教」を小田藤太郎講師に変更。
- ・前田研史教授、曾山（鶴井）いづみ助教の「心理学Ⅰ」を箱井英寿教授、黒黒慎太郎准教授に変更。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・池尻義隆教授、大沼勇人准教授、下司実奈准教授を「心とからだの健康」に追加。（授業内容の充実を図り、担当者を追加したため）
- ・毛利英利講師の退任により、「歴史Ⅱ」を牛根靖裕講師に変更。
- ・七野敏光講師の退任により、「現代社会Ⅰ」を青木良和講師に変更。
- ・佐々木勝一教授、田中希世子准教授の「現代社会Ⅴ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・渡辺晴子教授を「現代社会Ⅴ」に追加。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・佐々木宏講師の退任により、「教養総合Ⅱ」を外園周二講師に変更。
- ・小沢康英教授、吉川祐介助教の「教養演習Ⅰ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「教養演習Ⅰ」を削除。
- ・秋山学教授の退任により、「社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学）」を箱井英寿教授に変更。
- ・森下文講師の退任により、「教育・学校心理学」を栗本美百合講師に変更。
- ・梅垣佑介講師の退任により、「感情・人格心理学」を服部陽介講師に変更。
- ・佐伯（豊田）恵里奈准教授、曾山（鶴井）いづみ助教の「心理学基礎演習」を栗田聡子教授、黒黒慎太郎准教授に変更。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「心理学実験演習Ⅱ」を箱井英寿教授に変更。
- ・西本実苗講師の「心理学実験演習Ⅱ」を佐伯（豊田）恵里奈准教授に変更。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「心理学研究総合演習Ⅰ」を伊藤美奈子教授、箱井英寿教授に変更。
- ・黒黒慎太郎准教授の「心理学研究総合演習Ⅰ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「心理学研究総合演習Ⅱ」を伊藤美奈子教授、箱井英寿教授に変更。
- ・黒黒慎太郎准教授の「心理学研究総合演習Ⅱ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「専門セミナーⅠ」を伊藤美奈子教授、箱井英寿教授に変更。
- ・前田研史教授の「専門セミナーⅠ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「専門セミナーⅡ」を伊藤美奈子教授、箱井英寿教授に変更。
- ・前田研史教授の「専門セミナーⅡ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「卒業研究Ⅰ」を箱井英寿教授に変更。
- ・秋山学教授の退任により、「卒業研究Ⅰ」を吉川祐介助教に変更。
- ・浅木森和夫教授の「卒業研究Ⅰ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「卒業研究Ⅱ」を箱井英寿教授に変更。
- ・秋山学教授の退任により、「卒業研究Ⅱ」を吉川祐介助教に変更。
- ・浅木森和夫教授の「卒業研究Ⅱ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「心理演習」を伊藤美奈子教授、箱井英寿教授に変更。
- ・前田研史教授の「公認心理師の職責」を伊藤美奈子教授に変更。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「臨床心理実習Ⅰ」を伊藤美奈子教授に変更。
- ・教員の一身上の都合により、小原依子教授の「臨床心理実習Ⅱ」を伊藤美奈子教授に変更。
- ・池尻義隆教授の「臨床心理実習Ⅰ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・池尻義隆教授の「臨床心理実習Ⅱ」を削除。（授業時間割編成の調整により、担当者を変更したため）
- ・秋山学教授の退任により、「心理調査概論」を箱井英寿教授に変更。
- ・秋山学教授の退任により、「消費者心理学」を箱井英寿教授に変更。
- ・辻幸恵講師の辞退により、「ブランドと人間行動」を吉川祐介助教に変更。
- ・毛新華講師の辞退により、「交渉の心理学」を中村早希講師に変更。
- ・秋山学教授の退任により、「広告心理学」を小沢康英教授に変更。

（注）・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。

原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります

- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（（α）の4 分の3以上）
10 名	5 名	- 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （A'）	助手 (A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （B'）	助手 (B'）
7	2	1	1	11	-	3	7	2	1	2	12	-	3
(5)	(2)	(1)	(2)	(10)	-	(3)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （C'）	助手 (C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （D'）	助手 (D'）
7	2	1	2	12	-	3	7	2	1	2	12	-	3
[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[-]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[-]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、

「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、

「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「-」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	2 名	2 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{12} = \boxed{16.66} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基 幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	秋山 学	R7.3	必修	社会・集団心理学（社会・集団・社会心理学）	①	R7.3.31付け一身上の都合により辞任（7）						
				必修	心理学研究総合演習Ⅰ	①							
				必修	心理学研究総合演習Ⅱ	①							
				必修	専門セミナーⅠ	①							
				必修	専門セミナーⅡ	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				選択	心理調査概論	①							
				選択	消費者心理学	①							
				選択	広告心理学	①							
				必修	心理学実験演習Ⅱ	①							
				選択	心理演習	①							
				選択	地域学習	①							
				選択	教養演習Ⅰ	②							
2	教授	小原 依子	R7.3	必修	臨床心理学概論	①	一身上の都合により令和7年度担当授業なし（7）						
				必修	心理学研究総合演習Ⅱ	①							
				必修	専門セミナーⅡ	①							
				選択	心理演習	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				選択	臨床心理実習Ⅰ	①							
				選択	臨床心理実習Ⅱ	①							
				選択	公認心理師の職責	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2	人	必修	13	科目	必修	13	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	9	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	23	科目	計	22	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	10 科目	選択	9 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	23 科目	計	22 科目	計	1 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{11} = 18.18 \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ② で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・ 令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基 幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 大学の所見
辞退に伴い公募を行い、辞退者の科目を引き継ぐことができる専任教員を採用しているため問題はないと考える。
- ・ 学生への周知方法
学科オリエンテーションでの指導に併せて、大学のポータルシステムで周知を行っている。

(注) ・ 上記 (3) の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年度)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (文学部国際教養学科) 【A C】 指摘事項 (改善)	コロナ禍の影響により、令和3年度の高校訪問やオープンキャンパス等の学生募集は前年度に引き続き制限せざるを得ない状況であった。このことから、令和4年度入学生数は17名となり、令和3年度の入学生50名から大きく減少した。令和4年度の学生募集もコロナ禍以前の状況までの回復に至ってはいないが、志願者回復プロジェクトを立ち上げ、広報的観点と教学的観点から志願者の回復に務めた。その結果、令和5年度入学生数は21名となり、令和4年度から微増となった。引き続き、入学定員充足へ向けた取組を継続する。(5)	入学定員充足へ向け、今年度は昨年度以上のオープンキャンパスや高校訪問の充実を図り、広報活動の強化を予定している。入試においては、日程の変更や地方会場入試を増加させる等の対応を行う。 (5)
	【追加書面調査】 (R5. 12) 平均入学定員超過率が0.50倍、収容定員充足率が0.37倍と著しく低い、その原因分析の状況及び今後の改善策、今年度の学生確保の状況等について具体的に説明すること。 (文学部国際教養学科)	数値に誤りがあった為、平均入学定員超過率を0.50倍から0.51倍、収容定員充足率を0.37倍から0.49倍に修正し、履行状況報告書へ反映した。 新型コロナウイルスの影響により海外留学プログラムが中断せざるを得なかったこと等を踏まえ全体的に受験生への訴求力が弱まっており、オープンキャンパスの来訪者数もR3年62名、R4年65名、R5年65名と横ばいになっている。 今年度より予算を追加しオープンキャンパスの展示物やプログラムの充実化、学科のホームページの改修、さらにSNSでの広報活動強化やオープンキャンパスの回数増(1回追加)を行っている。これに加え、高校訪問担当者を3名から4名へ増員するとともに地方エリアの拡大により高校訪問の強化や受験生との接触回数の増加を図っている。またA0 入試や推薦入試によって年内に進学先を決めておこうとする昨今の受験者の志向を踏まえ、募集定員の多くを年内実施のA0 入試や公募制推薦入試に振り向けるなどの措置をとる対策を行っている。しかしながら、令和5年度の学生確保の状況は、昨年度と比較し入学者数4名増の21名であり入学定員充足には至っていない。 今後さらなるオープンキャンパスの回数増やA0入試について選考方法の改善を計画し、教育上の特色である資格取得やグローバル教育について受験生への訴求力の向上を図る。	

設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	収容定員充足率が0.49倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。 (文学部国際教養学科)	【A C】 指摘事項 (是正)	令和3年度に入学定員を40名から60名に増加して以降の入学者は、令和3年度は50名、令和4年度は17名、令和5年度は21名と推移しており、コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、令和6年度入学生は10名となり、令和6年5月1日時点の収容定員充足率は0.45倍となっている。令和6年度の志願者数は令和3年度との比較で28.5%であり、学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(6)	履行中	令和3年度以降の入学生志願者減少を踏まえ、今後のオープンキャンパスでは回数の増加や学科毎に行う催しの充実の他、学生生活のイメージを参加者に伝えられる内容を検討し、実施している。また、令和7年度入試では、多くの志願者獲得を目指し、A0入試制度、地方入試会場の見直しを行う。 なお、近年の文学部全体の入学者数減少を危機的状況と捉え、令和8年4月開設へ向けた学科の改組について、入学定員の見直しを含めた検討を進めている。(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	神戸女子大学の既設学科等(文学部英語英米文学科)の収容定員未充足の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 (改善)	令和3年度以降の入学者数は、令和3年度は43名、令和4年度は33名、令和5年度は19名、令和6年度は16名と減少が続いており令和6年5月1日時点の収容定員充足率は0.46倍となっている。志願者数は令和3年度との比較で38.4%であり、学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による志願者数の大幅な減少が続いている。(6)	履行中	令和3年度以降の入学生志願者減少を踏まえ、今後のオープンキャンパスでは回数の増加や学科毎に行う催しの充実の他、学生生活のイメージを参加者に伝えられる内容を検討し、実施している。また、令和7年度入試では、多くの志願者獲得を目指し、A0入試制度、地方入試会場の見直しを行う。 なお、近年の文学部全体の入学者数減少を危機的状況と捉え、令和8年4月開設へ向け、学科の改組について、入学定員の見直しを含めて検討を進めている。(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	神戸女子大学の既設学科等(文学部教育学科)の収容定員未充足の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 (改善)	令和3年度以降、入学定員の未充足が続いている。令和6年度の入学生数は令和5年度と同数の73名であり、収容定員充足率は57.4%となった。このことは、18歳人口の減少や全国的な教員採用試験の志願者減少の影響に加え、教職課程を持つ全国の私立大学が近年、教育学部への改組を進めていることが挙げられる。多くの大学が教育学部に改組する中、文学部教育学科として学生募集を行うことは、インターネットを活用した大学検索等においてアピール度が大きく異なり、本学教育学科の教育力や教員養成力などが受験生や保護者、高等学校関係者、教育・保育分野担当者など社会に対して伝えきれていないことから、文学部教育学科の認知度が下降していることが考えられる。(6)	履行中	令和7年4月に教育学部教育学科への改組を行うことを構想しており、文学部教育学科で置いている幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(英語)、保育士資格の課程に加え、特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)の課程を置き、カリキュラムの更なる充実を図る。このことにつき、令和6年4月に運営委員会への事前相談へ諮るための書類の提出を行った。届出での設置が可能との回答が得られた際は、届出申請書類を提出次第、学生募集を開始する予定である。学生募集においては、例年の募集活動に加え、教育学部教育学科開設を大々的にPRすることで広報活動を活性化させ、教育学部のみならず、全学的な志願者増加を見込んでいる。また、文学部教育学科では入学定員165名、収容定員660名としていたが、教育学部教育学科の入学定員は130名、収容定員520名にすることで、定員充足を確実なものとする。(6)

設置計画履行状況	○ 収容定員充足率が0.45倍と著しく低い。入学前教育の充実を含め、教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、より効果的な改善策を新たに講じる等、令和7年度の入学定員の充足に努めること。（文学部国際教養学科）	【A C】 指摘事項 （是正）	直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は10名、令和7年度は17名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.29倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。（7）	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→20人、収容定員240人→80人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的にを行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。（7）
設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部日本語日本文学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 （改善）	直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は29名、令和7年度は37名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.61倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。（7）	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した。（入学定員60人→40人、収容定員240人→160人）また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的にを行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。（7）
設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部英語英米文学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 （改善）	直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は16名、令和7年度は22名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.35倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。（7）	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→20人、収容定員240人→80人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的にを行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。（7）

設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部史学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は19名、令和7年度は24名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.50倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。（7）	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→30人、収容定員240人→120人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化もっており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。（7）
調査結果 (令和6年度)		【A C】 指摘事項 (改善)			
設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部教育学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		令和7年4月に教育学部教育学科へ改組を行った。文学部教育学科で置いている幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、保育士資格の課程に加え、新たに特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）の課程を置き、カリキュラムの更なる充実を図るとともに、18歳人口の減少や全国的な教員採用試験の志願者減少の影響も考慮し、文学部教育学科では入学定員165名、収容定員660名としていたが、教育学部教育学科の入学定員は130名、収容定員520名にした。（7）	履行済	教育学部教育学科においても大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化もっており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。教育学部教育学科開設を継続的にPRすることで広報活動を活性化させ、定員充足を確実なものとする。（7）
調査結果 (令和6年度)		【A C】 指摘事項 (改善)			
設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（健康福祉学部社会福祉学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。とくに令和5年度は52人、令和6年度は38人、令和7年度は37人と入学者数が大きく減少しており、収容定員充足率は0.58倍となった。コロナ禍以降、全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や競合する他大学で合格が得やすい状況もあり、受験者数の大幅な減少が続いている。（7）	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員80人→50人、収容定員320人→200人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化もっており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。（7）
調査結果 (令和6年度)		【A C】 指摘事項 (改善)			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。
- 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
- その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
(令和4年度) ・1時限の授業時間：90分	(令和4年度) ・1時限の授業時間：105分に変更 ポストコロナに向けた授業改革により、アクティブラーニングを積極的に取り入れ教育内容を充実するとともに、授業期間が短縮されることで、夏季休業中の留学・インターンシップ等の促進を図るため。
(令和5年度)	(令和5年度) 該当なし
(令和6年度)	(令和6年度) 該当なし
(令和7年度)	(令和7年度) 該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（添付資料1）
- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（添付資料2）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（2024年度 3回開催）
- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（2024年度は開催していない）

c 委員会の審議事項等

- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会
FD活動の計画及び実施、運営及び支援、情報収集及び提供等に関する事項
- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会
大学等の運営に係る教職員の能力・資質の向上に関する事項、SD研修に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業アンケートの実施、分析、フィードバック
- ・研修等の企画、立案、運営

b 実施方法

- ・授業アンケート：PC、スマホから回答するオンライン形式
- ・研修等：①対面でのワークショップ形式での研修、②一定期間内に各自で受講するeラーニング形式での研修を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①参加率67.9%、②参加率40.1%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員は授業別に配信される結果を受けて、学生にフィードバックコメントを送るとともに自身の授業改善に活用している。

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期及び後期の授業期間又は授業終了後に各々1回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員には全担当科目の結果を示し、かつ集計結果から共有すべき内容を教授会等で報告、学生には履修科目のアンケート結果及び担当教員からのフィードバックコメントを学内システムにて公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学部心理学科は、人間の心的過程と行動のメカニズムに深い関心を持ち、社会における人間の多様な営みを心理学の視点から理解し、他者と心理的な交流を深めて協働して活動することのできる人材を養成することを目的に設置した学部である。

今年度の入学者数は78名と開設以来初めて入学定員を下回ったが、収容定員としては充足しており比較的順調に推移している。

学部の目的に照らした学生の学習成果の獲得状況については、まだ総括的な評価をできる段階ではないが、学生による間接評価の結果からは、引き続き学年進行に伴い、心理学に関する知識・技能の修得実感が高いことが確認できている。本学部の目的を理解しながら、年次進行上に応じて概ね問題なく学習に取り組んでいると判断できる。

以上のことから、現時点において本学部の当初目的は達成できていると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・2027年4月公表予定（2026年度に総括的な自己点検・評価を実施予定）
- 〔前回認証評価（2023年度）の点検・評価内容等はホームページで公開している。〕

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

2023年度に公益財団法人大学基準協会の評価を受審し「適合」認定を受けた。次回は2030年度に同団体の評価を受審予定。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

第5編（神戸女子大学・神戸女子短期大学 FD 委員会規程）

神戸女子大学・神戸女子短期大学 FD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、神戸女子大学及び神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学・神戸女子短期大学 FD 委員会（以下「委員会」という。）を置き、大学設置基準、大学院設置基準及び短期大学設置基準に基づき、組織的な研修及び研究（FD）を実施し、本学における授業の内容及び方法の改善を図ることを目的とする。

（組織）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- （1）委員長
- （2）大学の各学科に所属する教員各1名
- （3）大学院の各専攻に所属する教員各1名
- （4）短期大学の各学科に所属する教員各1名
- （5）全学共通教育運営委員会委員1名
- （6）学長室課長

2 前項第6号を除く各号の委員を兼務することは、これを妨げない。

3 第1項第6号を除く委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 委員長は、学長が指名する。

5 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

6 委員長に事故があるときは、学長が代理を指名する。

7 第1項第2号、第3号、第4号及び第5号の委員は委員長からの推薦に基づき、学長が指名する。

8 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- （1）FD活動の計画及び実施、運営及び支援に関する事項
- （2）FD活動に関する情報収集及び提供に関する事項
- （3）FD活動の自己点検・評価に関する事項
- （4）その他、委員会が必要と認める事項

2 前項各号について審議された事項は、内部質保証委員会に報告する。

（事務）

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、委員会及び内部質保証委員会の意見を聴き学長が行う。

附 則

1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、神戸女子大学 FD・SD 委員会規程及び神戸女子短期大学 FD・SD 委員会規程は廃止する。

神戸女子大学・神戸女子短期大学 SD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、神戸女子大学及び神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学・神戸女子短期大学 SD 委員会（以下「委員会」という。）を置き、大学設置基準、大学院設置基準及び短期大学設置基準に基づき、本学における教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための必要な取組（SD）を行うことを目的とする。

（組織）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- （1）学長
- （2）法人本部長
- （3）法人本部総務部長
- （4）事務局長
- （5）学長室課長
- （6）その他学長が必要と認めた教職員

2 前項第6号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

3 委員長は学長が当たり、委員長に事故があるときは、委員長が代理を指名する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- （1）大学等の運営に係る教職員の能力・資質の向上に関する事項
- （2）SD 研修に関する事項
- （3）その他、委員会が必要と認める事項

（事務）

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、委員会の意見を聴き学長が行う。

附 則

この規程は、令和3年4月8日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年7月28日から施行し、令和4年7月1日から適用する。